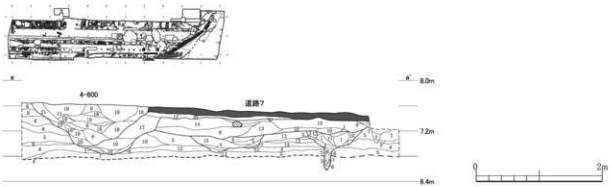


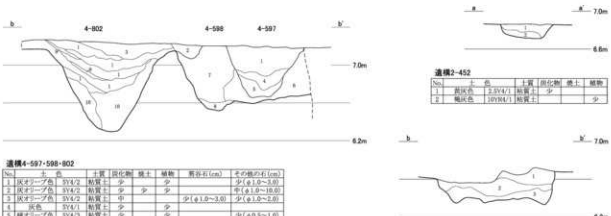
遺構4-600・道路7

No.	土色		土質	固化物	混土	植物	雲谷石(cm)	その他の石(cm)
1	灰黄褐色	10YR4/2	砂質土	少		少		
2	黄灰色	2.5Y4/1	砂質土	少		少	少(φ0.4)	
3	黄褐色	2.5Y5/3	砂質土	少		少		
4	暗灰黄色	2.5Y4/2	砂質土	少		少		
5	暗灰黄色	2.5Y4/2	砂質土	少	少	少		
6	褐色	2.5Y3/2	粘質土	少	少			
7	黒褐色	2.5Y3/2	粘質土	少				
8	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂質土	少	少			少(φ1.0)
9	暗灰黄色	2.5Y4/2	砂質土	少			少(φ0.5)	
10	褐灰色	10YR6/1	砂質土	少	少	中		少(φ0.7)
11	褐色	10YR4/4	砂質土	少		少		
12	オリーブ褐色	2.5Y4/3	砂質土	少				少(φ0.5~1.5)
13	黒灰色	2.5Y4/1	砂質土			中		
14	黒灰色	2.5Y4/1	砂質土	少	少	少	少(φ3.0~7.0)	少(φ0.5~2.0)
15	黒灰色	2.5Y4/1	砂質土	少	少	少		少(φ1.0)
16	暗褐色	10YR3/3	砂質土	少	少			少(φ0.5)
17	褐灰色	10YR6/1	砂質土	少				
18	灰黄褐色	10YR4/2	砂質土	少	少		少(φ0.5~1.0)	少(φ1.0)
19	黒褐色	10YR3/2	粘質土	少	少		少(φ0.5~2.0)	少(φ4.0)
20	灰黄褐色	10YR4/2	砂質土	少			少(φ0.2)	
21	暗オリーブ褐	2.5Y3/3	砂質土	少	少			
22	オリーブ褐色	2.5Y4/4	砂質土	少			少(φ0.8~2.0)	

砂利層

遺構10-1147

No.	土色		土質	固化物	混土	植物	雲谷石(cm)	その他の石(cm)
1	暗灰黄色	2.5Y5/2	砂質土	少		少		少(φ0.5~3.0)
2	灰黄褐色	10YR5/2	粘質土	少	少		少(φ0.5)	少(φ0.5)
3	暗灰黄色	2.5Y5/2	粘質土	少	少	少	少(φ0.5~25.0)	少(φ0.5~3.0)
4	暗灰黄色	2.5Y4/2	砂質土	少		少	少(φ0.5)	少(φ0.5)
5	黄灰色	2.5Y6/1	粘土	少		少		
6	暗オリーブ色	5Y4/3	シルト	少		少		
7	黒色	5Y2/1	シルト	多		少		少(φ0.5)
8	灰オリーブ色	5Y5/3	シルト	少		少		
9	黄灰色	2.5Y4/1	粘土	少		少	少(φ0.5)	
10	黒褐色	2.5Y3/1	粘土	少		少	少(φ0.5)	
11	黒褐色	10YR3/1	粘土	少		少		
12	灰色	5Y4/1	粘土	少		少		
13	灰オリーブ色	5Y5/2	粘土	少		少	少(φ0.1)	
14	灰色	5Y4/1	粘土	少		少	少(φ0.5~1.0)	
15	オリーブ黒色	5Y3/1	粘土	少			少(φ1.0)	



遺構2-452

No.	土色		土質	固化物	混土	植物
1	黄灰色	2.5Y4/1	粘質土	少		
2	褐灰色	10YR4/1	粘質土			少

遺構4-597・598・802

No.	土色		土質	固化物	混土	植物	雲谷石(cm)	その他の石(cm)
1	灰オリーブ色	5Y4/2	粘質土	少		少		少(φ1.0~3.0)
2	灰オリーブ色	5Y4/2	粘質土	少	少	少		中(φ1.0~10.0)
3	灰オリーブ色	5Y4/2	粘質土	中			少(φ1.0~3.0)	少(φ1.0~2.0)
4	黒色	5Y4/1	粘質土	少		少		
5	暗オリーブ色	5Y4/3	粘質土	少		少		少(φ0.5~1.0)
6	黄灰色	2.5Y4/1	粘土	少		少		少(φ1.0~3.0)
7	オリーブ黒色	5Y3/2	粘質土	中	少	少	少(φ1.0~3.0)	中(φ1.0~5.0)
8	オリーブ色	5Y6/6	シルト					
9	オリーブ黒色	7.5Y6/3	粘質土	少		少		
10	暗青灰色	5BG4/1	粘土			少		

遺構4-860

No.	土色		土質	固化物	混土	植物
1	黒褐色	2.5Y3/1	粘質土	少		少
2	黒色	10YR5/6	粘質土	少		少
3	暗オリーブ色	2.5Y4/1	粘質土	少		少

0 2m

図133　区画③ 溝・砂利敷道路（S＝1/40・1/60）

吉野川東岸調査区　吉野川東岸調査区は中世後半より遺構が確認される。遺構面は溝状遺構を中心とした下面と、溝を埋め立て丁寧に整地し広場？とした上面の２面が確認された。主な遺構は溝状遺構・土坑である。なお、上面は遺構皆無のため遺構配置図は１面のみ記載した（図134）。

溝　吉野川流路に平行して流れる。確認された３条の溝３　116・117・118である。３　116・117間は遺構肩から測り約３ｍで、３　117・118間は約５ｍ開く。いずれも断面形状は緩やかな角度の薬研掘りである。幅・深さとも大きな変化はなく、幅約３ｍ、深さ１ｍを測る。断面図からみると、遺構壁面の自然崩落による自然堆積の後、人工的に埋め立てられた。３　116や３　117（図135・136）では西（川）側から土砂を入れる様子が顕著であるが、他の断面でも西（川）側から堆積する傾向がみえる。

遺構３　253は、遺構３　116から直角に吉野川へ流れる溝である。溝中央を遺構３　10・工事矢板打ち込みに伴う撹乱により分断され、本来一続きなのか、中央で土橋状に掘り残すのか不明である。溝は断面逆台形で、幅約０．８ｍ、深さ約０．４ｍを測る。

土　坑　遺構３　310は銭貨約200枚が纏まって出土した（図136）。意識的に埋納したとも考えられるが明確に穴の輪郭を捉えられず、確証はない。銭貨は一連の銭緡であったものと見られる。遺構３　09は長方形に近い不整形土坑である（図137）。長辺７．10ｍ、深さ１．1ｍを測る。土層を観察すると、下半部は徐々に自然堆積し、上半部は一気に埋め立て、最上部は丁寧な整地を行った（沈下の度に土を盛った）ように看取された。平面形状は２つの土坑が切り合うように見えるが、明確ではない。３　10は３　09に近接した不整形土坑である（図137）。長辺５．7ｍ、深さ１．8ｍを測る。層状に堆積し、大きな乱れはない。土坑３　09・10は溝３　116～118が埋め立てられ、整地された面からの遺構であり、溝群より一時期新しい。遺構３　14（図134）は不整形で調査区端のため全容は窺えなかった。遺物は少ない。

整地層　遺構ではないが付け加えておく。溝３　116～118を埋め立て廃絶時、さらに全体を覆うように丁寧な整地をする。厚み０．05～０．1ｍで、砂質土・有機物・砂質土と互層で重ねる。とくに３　116～117間では砂質土が非常に硬く締まっていた。さらに、この層中には笏谷石礫が遺物と共に散在する部分もある。笏谷石礫には上面が平らで礎石状に据えられていたものもあるが、建物などには復元できなかった。写真図版25上　は、この整地土を除去、笏谷石群を浮き上がらせた状況での記録である。

福井市街地で不明な中世の様相を垣間見た。遺構面は海抜５．5ｍ前後で、現湧水層４．0ｍに比べわずか１．5ｍしかない川岸の低地であり、中世前半以前の遺構は見つかっていない。溝３　116～118がこの地区最古の遺構である。性格・空間配置など不明だが吉野川東岸地区に突如大規模開発が始まったことは意義深い。時期的には遺物の編年観から16世紀第２～３四半期、朝倉期を想定するが検討を要する。上面整地面は明確にこの時期と言える遺構がなく、ただ空間地が広がる意味不明な空間だが、丁寧な整地の様子は下面同様大規模開発の一環と考えさせ、空間地を意義あるものと位置づけさせる。いずれにせよ上・下面とも朝倉期の北庄の繁栄と拡大、これに続く柴田氏や丹羽氏などの北庄城・城下町整備という一連の流れの中で捉えるべき遺構群と考えられ、今後の、とくに旧吉野川東岸地区の空間復元に示唆を与える成果と言えよう。福井駅高架関連の調査（平成13～15年度）でも16世紀代の遺構群が確認されており、中世北庄解明を目的とした今後の周囲の調査が期待される。（河村）

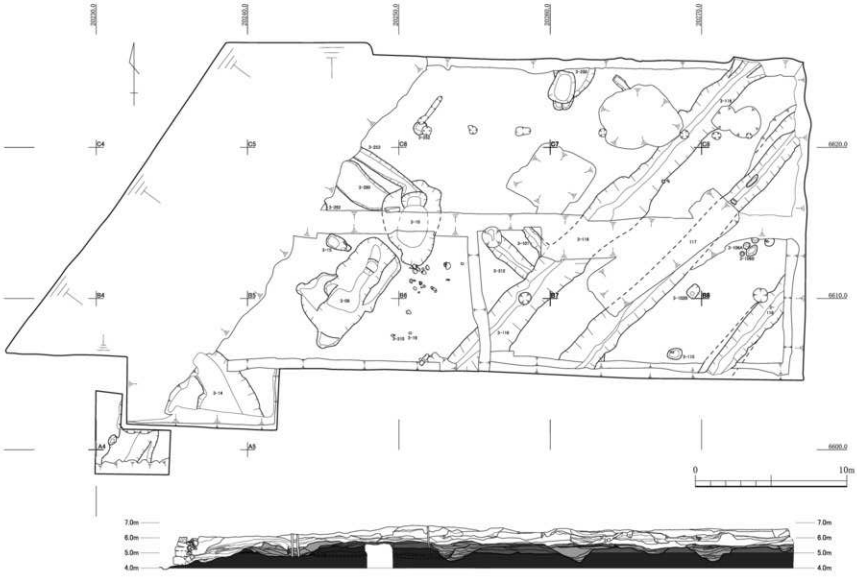
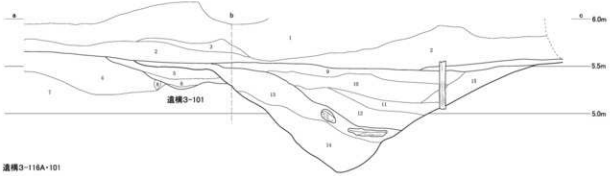


図134　吉野川東岸調査区　遺構配置（S＝1/250）



遺構3-116A・101

遺構3-116B

No.	色	土質	焼化物	炭土	植物	厚径・長(cm)	その他の長(cm)
1	オリーブ色	10YR/6	粘質土	少			
2	褐灰色	10YR/4	粘質土				
3	黄灰色	2.5YR/1	粘質土	中	中		
4	灰オリーブ色	10YR/2	粘質土	少	少		少(φ0.3~1.0)
5	灰オリーブ色	10YR/2	粘質土	少			
6	淡色	10YR/1	粘質土	少			
7	褐灰色	10GY/1	粘質土	少	少		
8	黒灰色	2.5YR/1	粘質土	中			
9	褐灰色	10GY/1	粘質土				
10	褐灰色	10GY/1	粘質土		少		
11	オリーブ灰色	2.5GY/1.5	粘質土		少		
12	淡色	10YR/1	粘質土	少	少		
13	灰オリーブ色	10YR/2	粘質土	中			

遺構3-116C

No.	色	土質	焼化物	炭土	植物	厚径・長(cm)	その他の長(cm)
1	オリーブ褐色	2YR/3	粘質土	少			
2	オリーブ黒色	5YR/2	粘質土	中	中		
3	オリーブ黒色	5YR/2	粘質土	少	少		
4	オリーブ黒色	5YR/1	粘土	少	少		
5	灰色	7.5YR/1	粘質土		少	少	
6	オリーブ黒色	5YR/1	粘質土				
7	灰色	5YR/1	粘質土				

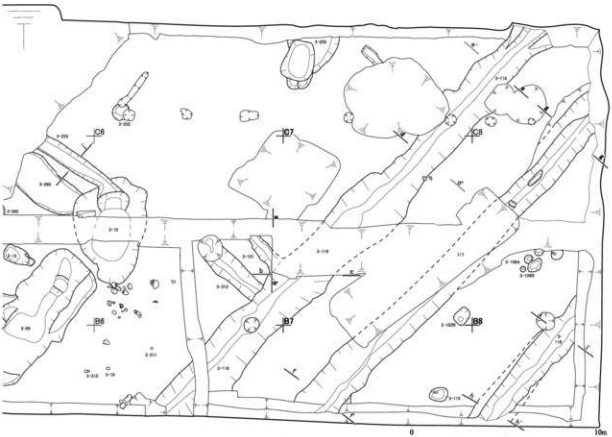
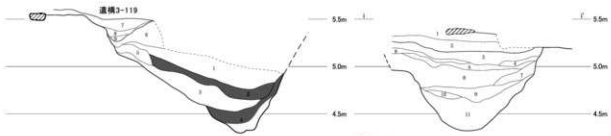


図135　溝（S＝1/40・1/200）

遺構3-116A・101

No.	土色	土質	混在物	焼土	植物	黄谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	褐灰色	10BG3/1	粘質土	少			少(φ3.5~4.0)	
2	黄灰色	2.5Y6/1	粘質土					
3	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土					
4	灰色	7.5Y5/1	粘質土					
5	黒褐色	10YR3/1	粘質土	中	多			
6	灰オリーブ色	5Y5/2	粘質土	少	中			中(φ1.0~3.0)
7	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土					

No.	土色	土質	混在物	焼土	植物	黄谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
8	灰色	N5/0	粘質土		少			
9	灰色	10Y5/1	粘質土	中		中		
10	黒褐色	2.5Y3/2	粘質土	多	少	多	少(φ1.0~2.0)	ピート層
11	灰色	10Y5/1	粘質土	少	少			
12	黒褐色	2.5Y3/2	粘質土	多	少	多		ピート層
13	灰色	10Y5/1	粘質土		少			
14	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少		少		
15	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少		少		



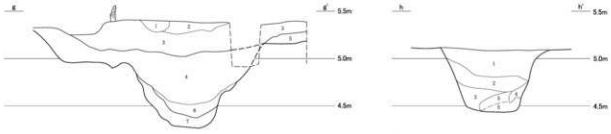
遺構3-117A

No.	土色	土質	混在物	焼土	植物	黄谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土	少	少			
2	褐オリーブ灰色	5GY4/1	粘質土	少	少			
3	緑灰色	7.5GY5/1	粘質土					
4	緑灰色	7.5GY5/1	粘質土					
5	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土					
6	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土	少	少			
7	黒灰色	5.0Y5/1	粘質土	少				遺構119
8	オリーブ色	5Y5/4	砂質土					遺構119
9	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土		少			遺構119

ピット跡

遺構3-118A

No.	土色	土質	混在物	焼土	植物	黄谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	灰色	7.5Y5/1	粘質土	少	少			
2	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少				
3	灰色	7.5Y5/1	粘質土	中	中			
4	灰色	7.5Y5/1	粘質土	少	少			
5	灰色	7.5Y5/1	粘質土	多	中			
6	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少				
7	灰色	10Y5/1	粘質土	少				
8	灰色	10Y5/1	砂質土	少	少			
9	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	多	中			
10	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土					
11	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少				



遺構3-117B

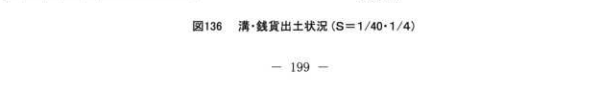
No.	土色	土質	混在物	焼土	植物	黄谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘質土	中	少		少(φ1.5)	
2	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘質土		少			
3	オリーブ褐色	10Y5/1	粘質土	少	少			
4	オリーブ褐色	10Y5/1	粘質土	少	少		少(φ0.5)	
5	オリーブ黒色	10Y5/1	粘質土		少			
6	黄灰色	2.5Y4/1	粘質土		少			
7	褐オリーブ灰色	2.5GY4/1	粘質土		少			

遺構3-118B

No.	土色	土質	混在物	焼土	植物	黄谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	灰色	10Y5/1	粘質土	少	少			
2	オリーブ灰色	2.5GY5/1	粘質土	少		少		
3	オリーブ灰色	N5/0	粘質土	少		少		
4	オリーブ灰色	5GY6/1	粘質土		少			
5	褐オリーブ灰色	2.5GY4/1	粘質土	少				

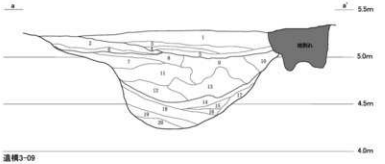
遺構3-253

No.	土色	土質	混在物	焼土	植物	黄谷石(cm)	その他の石(cm)	備考
1	灰色	10Y5/1	粘質土	少	少			
2	灰色	10Y5/1	粘質土	少				
3	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土		少			
4	オリーブ色	5GY5/1	粘質土	少	中			
5	オリーブ灰色	5GY5/1	粘質土	少	少			
6	緑灰色	10GY5/1	粘質土					



遺構3-310

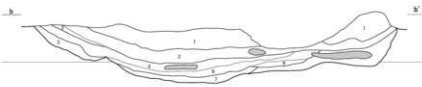
図136　溝・銭貨出土状況（S＝1/40・1/4）



遺構3-09

No.	土	色	土質	固	粗	植	備	考
1	青灰	10BG5/1	粘質土	中				
2	青灰	10BG5/1	粘質土	少	少	少		
3	灰オリーブ	5Y5/2	粘質土	中	少			
4	青灰	10BG5/1	粘質土	少				
5	灰オリーブ	5Y5/2	粘質土	中	少			
6	緑灰	10G5/1	粘質土	少	少	少		
7	青灰	5BG5/1	粘質土	少	中			
8	青灰	5BG5/1	粘質土	少	少			
9	緑灰	10G5/1	粘質土	少	中			
10	緑灰	10G5/1	粘質土	少	少			
11	青灰	10BG5/1	粘質土	少	中			
12	緑灰	5G5/1	粘質土	少	中			
13	緑灰	5G5/1	粘質土	少	中			
14	灰オリーブ	5Y5/2	粘質土	多	中		遺物多く含む。	
15	黄灰	2.5Y6/1	粘質土	中	中			
16	黒褐	7.5Y3/1	粘質土	多				
17	オリーブ灰	2.5GY5/1	粘質土	中				
18	オリーブ灰	5GY5/1	粘質土	少	中			
19	オリーブ灰	5GY5/1	粘質土	少	中			
20	オリーブ灰	5GY5/1	粘質土	少	中			

地割れ



遺構3-248

No.	土	色	土質	固	粗	植	敷谷石(cm)	備	考
1	青灰	10BG5/1	粘質土	少					
2	灰	5Y4/1	粘質土	中		中	少(φ5.0)	ゴミ層	
3	灰	10Y4/1	粘質土	中		中		ゴミ層	
4	オリーブ灰	2.5GY5/1	粘質土	少		中			
5	黒	10Y2/1	粘質土	多		少			
6	緑灰	10GY5/1	粘質土	少		少			
7	オリーブ灰	5GY5/1	粘質土						

敷谷石を含む層

0 2m

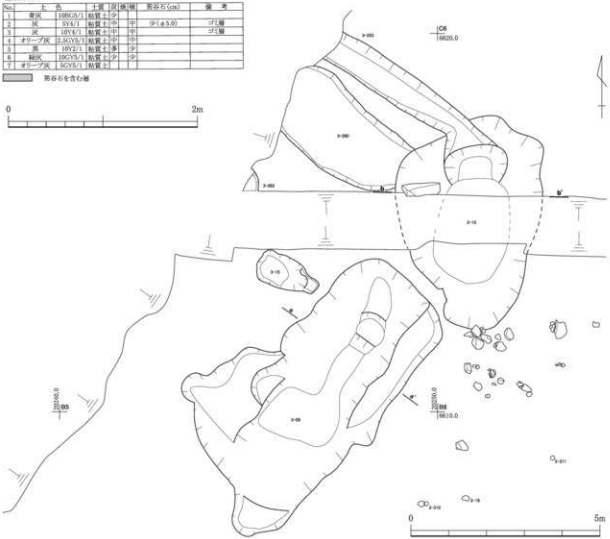


図137　土坑（S＝1/40・1/100）

２．遺　物

土器・陶磁器

出土遺物は時期的には中世後半、15世紀後半から16世紀後半が中心である。産地別では、施釉陶器は瀬戸美濃。焼締陶器は越前焼、僅かに信楽焼。土師質土器。中国産では竜泉窯系青磁、景徳鎮系白磁・青華、軟質白磁。李氏朝鮮産の蕎麦手陶器等である。本項でもまず産地毎に概要を述べ、挿図版では一括性を重視し遺構種別・遺構毎に編集した。

１）瀬戸美濃焼；　古瀬戸後期から大窯期に至る時期のものが出土している。器種毎にみてゆく。碗は天目茶碗が圧倒的に多い。主として鉄釉を掛け、露体部に錆釉を塗る大窯前半のものが大半である。包16は上半部が欠けるが天目形で高台のつくりや釉調から古瀬戸（穴窯期）と考えられる。高台のみだが217 16は高台内に一文字刻線、217 17は放射状に墨線を入れる。灰釉碗は比較的小量である。板石1、806 1、510 1は青磁写しである。1338 1は平碗である。丸碗類も少量みられるが細片が多い。天目茶碗以外の茶陶が多いのも特色である。鉄釉茶入（包14・15）はいずれも器壁はやや薄く丁寧な作行きである。大海茶入（2A 12　3A 2）戦国期に多くみられるが、3A 2は無釉で焼締、底部の糸切り痕を残さないが、胴中央の凹線をうっすらと残す。小壷とともに茶壺（四耳壷；3009 1）も出土している。艶のない鉄釉を刷毛塗りし、肩部に耳を付ける。いわゆる祖母懐壷である。鉄釉小坏（2A 5）は漆継ぎ痕が残る。直径10cm前後の小皿は多い。大きくは古瀬戸系の緣釉皿と大窯の灰釉小皿に分かれる。大半は灰釉丸皿（2A 7・8、1009 1、587 2、3313 1、3117 1、3313 1、3B 2等）の他、稜皿（207 3、3009 6）もみえるが折緣皿は確認されなかった。緣釉皿（297 3、1138 1、1338 2）や卸皿（207 2、217 22）は細片も加えると多く出土している。菊形の入子皿（包5）はうっすらと自然釉が掛かる。灰釉卸目付大皿（9222 3）深皿（217 23、297 2、598 2）も細片を加えると多い。鉄釉香炉（217 24）は袴腰形で低い3脚を付ける。この遺構周辺では仏具・石塔類も出土している。鉄釉鉢（587 3）は低い3脚を付け、袴腰状に胴部を括らせ、口縁部は外へ開き波打つ。内部は露胎のため香炉か。灰釉燭台（994 1、912 1）は2基出土している。外見は同様だが994 1は粘土紐を積み上げるのに対し912 1は袋状の胴部に脚部を付け足す。石裏1は鉄釉水注で、胴部に注口を付ける。

２）越前焼；　近世と違い一乗谷朝倉氏遺跡に近い器種構成である。中心は擂鉢、甕、壷等だが時期幅は広く13世紀まで遡るものみられる。大甕522 3、9123 1はいずれも埋甕として埋設されていた。9123 1は口縁部が楕円形に大きくゆがむ。口縁部歪みのないことから肩より上は楕円形に成形したと考えられる。類品は福井駅構内地点、北陸新幹線関連地点でも出土している。何れも9123 1と同じ容量の大甕で他の容量の甕ではみられない。時期的にも16世紀（　期）に限定される。以上から特定用途向けに作られたと考えられる。520 1は壺である。肩部に窯印を線刻する。出土時、焼土に覆われていたが壺そのものは被災しておらず木箱等に入れられていたか。さらに肩部に紙状のものが広く付着していたことから紙で蓋がされていたとおもわれる。擂鉢は大量に出土している。口縁端部を丸くし、内面口縁2㎝下に沈線を1本巡らせる。擂目は底部から引き上げこの沈線で意識的に止める15世紀代（　期）のもの（石下2、912 2、594 3、217 25・28）。口縁端部がやや尖る断面三角形状で内面口縁直下に沈線が1本巡り、擂目は底から途中で止めず一気に引き抜く16世紀代（　期）のものがみられる。　期のものはさらに口縁端部を四角く面取りし、内面口縁2㎝下に沈線を1本巡らせ、擂目は沈線で意識的に止める　と期の過渡的形態を示すもの（217 26・27、9222 4、1009 9）。丸い口縁端部に沈線を間す13～14世紀の形態をのこすもの（板石10・18、802 1）に分けられる。912 2は内面のみならず外面にも擂目を施す。

包 4は擂目を櫛書きと1本線の両方を認められ珍しい。捏鉢 587 4は内面に 520 1と同じ窯印を線刻する。薬研（ 811 1）は中央に棒を通す角穴を開ける。笏谷石製品も出土しており対比される。

3）信楽焼； 擂鉢 2B 5は赤褐色を呈し、長石粒が少量混じる。口縁端部に段を付ける。茶陶以外の信楽焼は国際交流会館地点でも出土している。壷 217は白灰色の胎土で長石粒を多く含む。壷と考えられるが、花瓶等茶陶の可能性もある。

4）土師質土器； 大部分は皿である。土坑 10 5015出土の3枚セット、 217 54は 13世紀後半の特色を持つ。これ以外は 15世紀後半から 16世紀後半にかけてのものである。器形的には見込みの平らと丸いものがある。器壁は薄く精緻なものと厚いものがみえる。胎土色調は白に近いものと赤色系がある。その他羽釜（ 217 35）や、棒状のものに粘土を巻き付けた簡単な作りの土錘（ 217 36、 297 8）がある。

5）瓦質土器； 風炉、火鉢等みられるが、細片が多く図化し得るものは極めて少ない。 802 2は風炉の脚とおもわれる。

6）貿易陶磁； 中国製品 産地は中国・李氏朝鮮等みられる。中国製品の中心は青磁碗・皿類である。外面縦線刻と剣頭で蓮弁を簡略化したタイプのもの、外面素紋で見込みに印を押したものに大別されるがいずれも 15世紀後半から 16世紀代のものが中心だが、鎬蓮弁の 292 2等中世前半の遺物も混じる。皿は碗に比べ少ない。直径 13cm前後の稜花皿が目立つ（ 595 3、 217 5、 207 4）。直径 9 cm前後の小皿類（ 217 4）も小量出土している。大皿は細片が多い。 3層 4は見込みに放射状の線刻を施し、口縁部をつまみ上げ折縁とする。 217 7は酒会壺蓋である。外面には牡丹紋が施され、内面は壺口縁があたらない部分は施釉する。白磁は口径 12cm前後の端反皿と小坏等軟質胎土の小品に大別される。端反皿は多くの遺構から出土しているが、いずれも同形同大である。軟質白磁では口径約 8 ～ 9 cmの六角坏（ 板石 3 ）、皿（ 583 1、 292 3、 217 12）と口径 12cm（ 806 3、 297 1）に分かれる。 217 12・13の見込みには窯積みの際の重ね跡が残る。高台内に記号を漆書きされるものが軟質白磁に限りみられる。丸点の星を幾つか描くもの（ 292 3、 806 3）、方形を描くもの（ 297 1）、点のみ（ 598 1）等みられる。染付は碗・皿等食器類中心である。器種別に碗からみてゆく。 3A 3は見込み部が盛り上がった饅頭心である。 3層 1、 594 1、 217 14は器壁が他に比べ薄い。皿は碗等に比べ多い。底が高台のものと碁笥底に大別される。 806 2、 9129 3、 931 1は端反皿である。 806 2、 129 3は口径 12cm、 931 1は一周り小さく 9 5cmである。 3103 1、 2A 8は底部のみながら口径 12cmクラスと考えられる。碁笥底のものはさらに二種類に分類される。839 3、 931 2、 3103 3は口径に対し高台径が小さく外見球形のもの。包 13は高台径が 839 3等に比べ大きいため見込み平坦部の広いものである。小坏は近世福井城期と比べ少ない。 600 1は口縁端部が端反り、外面区画割りし花紋が描かれる。 3100 2は華南三彩菊形小皿である。口径 6 cm、釉は銀化し、本来の色調を失うが浅葱交趾と考えられる。高台内に印がわずかにみえる。

李朝陶器 蕎麦手の碗・小皿、叩き成形の徳利である。包 11は蕎麦手碗である。見込みに 6 ヶ所の目跡が残る。鏡部立ち上がり境に明瞭な段はつけない。包 12は口径 9 5cmを測る蕎麦手小皿である。目跡を見込みに 3 ヶ所残す。実測できたのはこれ 1 点だが細片は数多く確認されており大量に輸入・使用されていた様である。 1281 1は徳利である。器壁を極限まで薄くする。胎土は赤橙色で黄色粘土と練り込みになるものもある。肩部に刻線で記号を刻む。形状を復元できたのはこれ 1 点だが、今回の調査で細片は数多く出土している。福井県下では 17世紀初期まで下がるが下莇生田畑田遺跡で出土している（福井県埋蔵文化財調査報告第 11集『六条・和田地区遺跡群』昭和 62年）他、 16世紀代の遺跡では細片ながら出土する例は多い。 （河村）

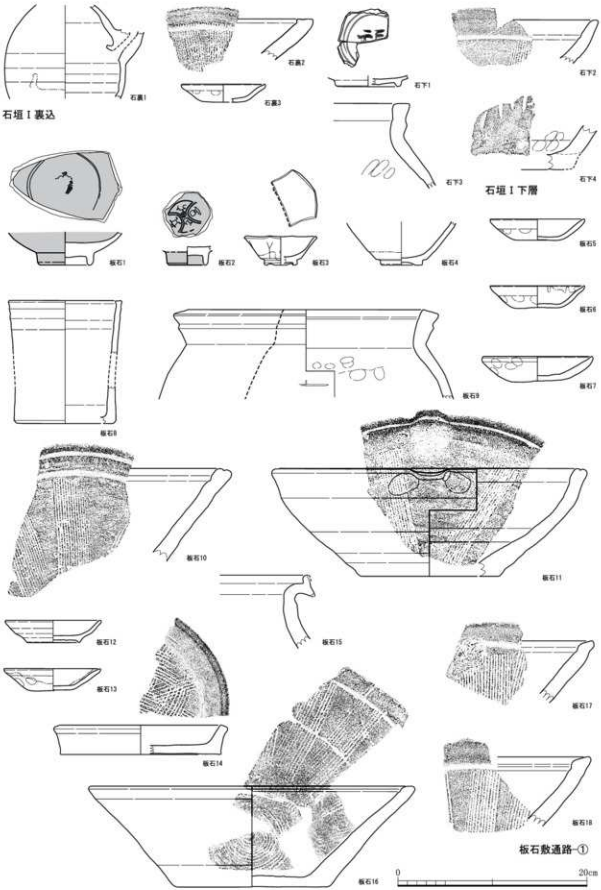


図138　土器・陶磁器①（S＝1/4）

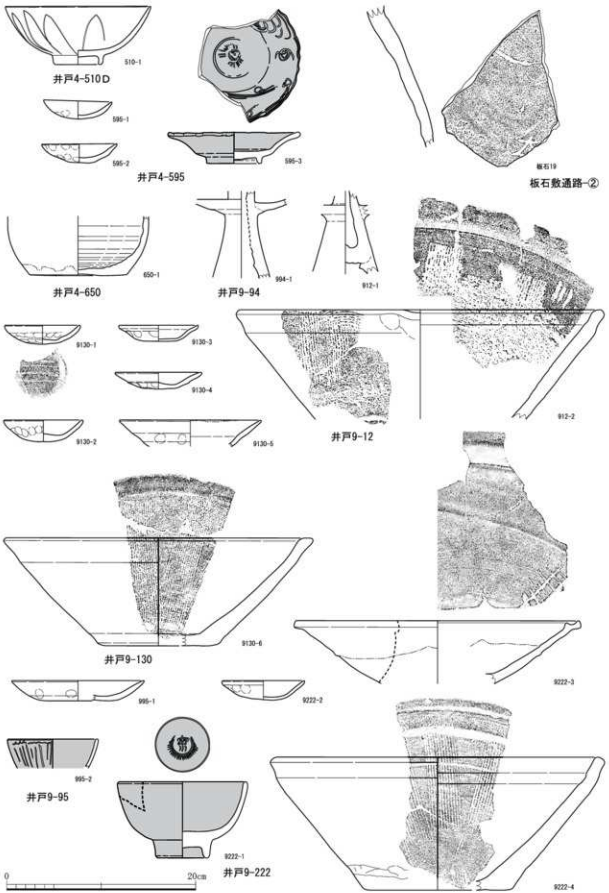


図139　土器・陶磁器②（S＝1／4）

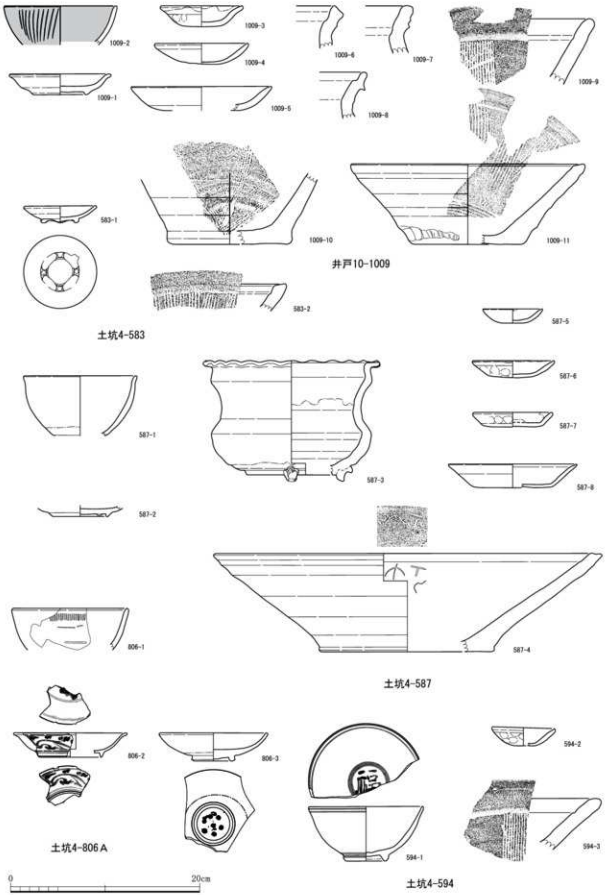


図140　土器・陶磁器③（S＝1／4）

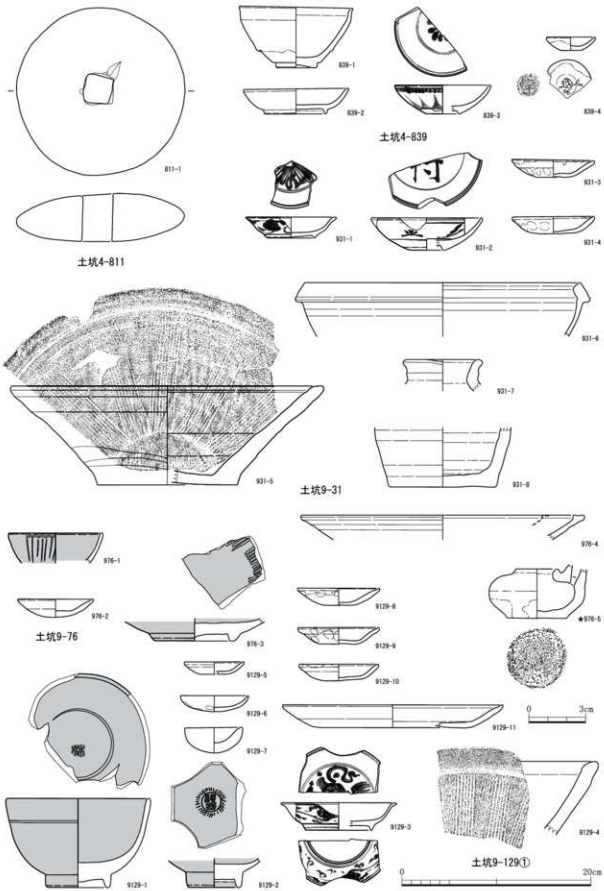


図141　土器・陶磁器④（S＝1／4、但し★＝1／2）

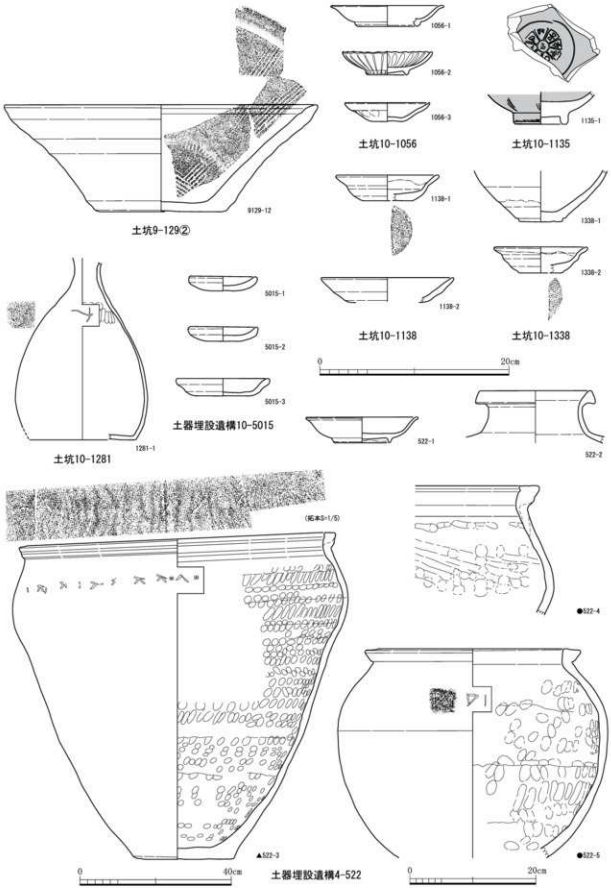


図142　土器・陶磁器⑤（S＝1/4、但し●＝1/6、▲＝1/10）

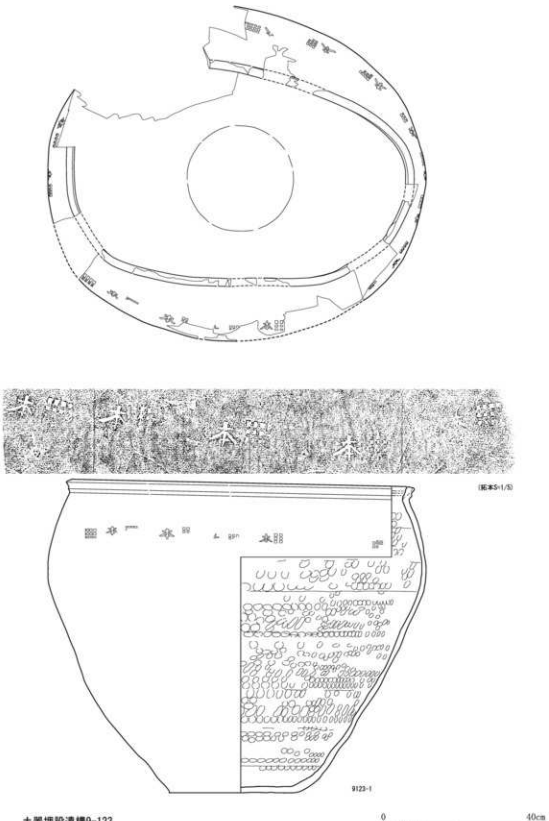
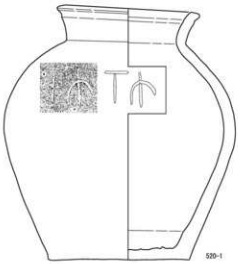
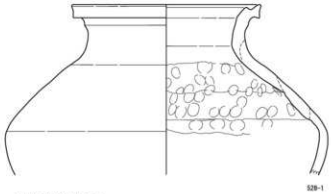


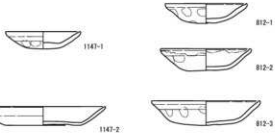
図143　土器・陶磁器⑥（S＝/10）



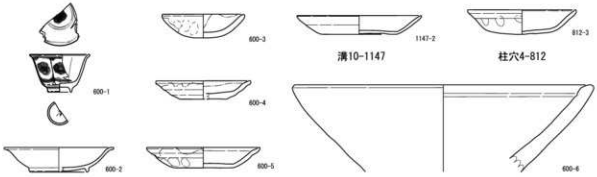
土器埋設遺構4-520



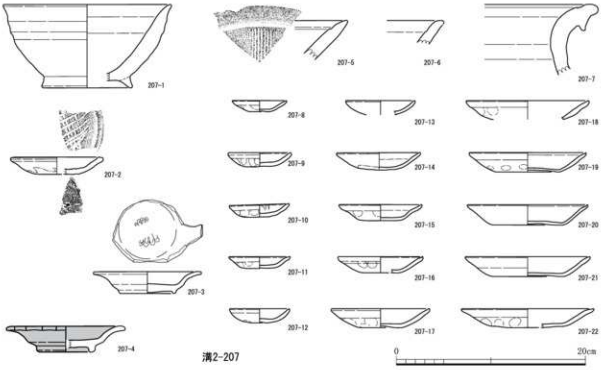
土器埋設遺構4-528



溝10-1147　　柱穴4-812



溝4-600



溝2-207

図144　土器・陶磁器⑦（S＝1／4）

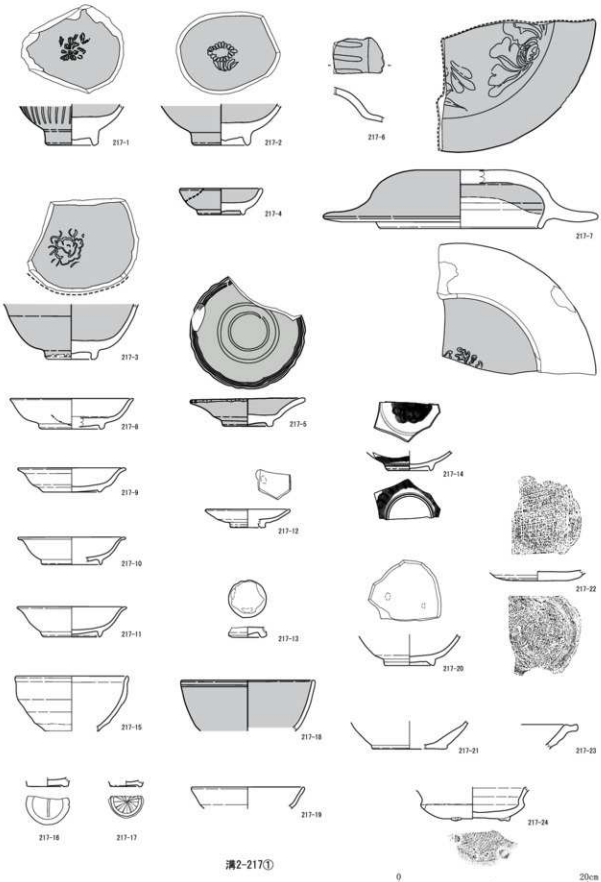


図145　土器・陶磁器⑧（S＝1／4）

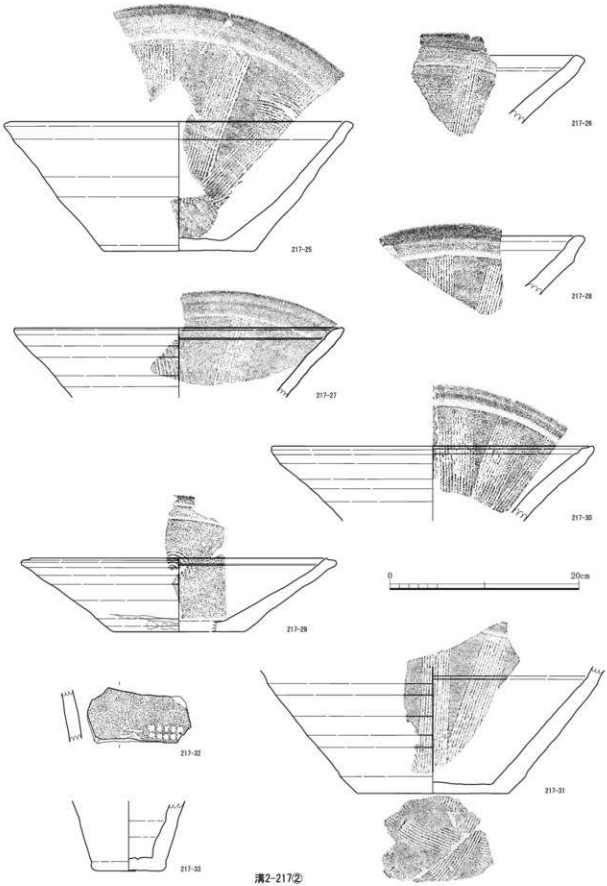


図146　土器・陶磁器⑨（S＝1／4）

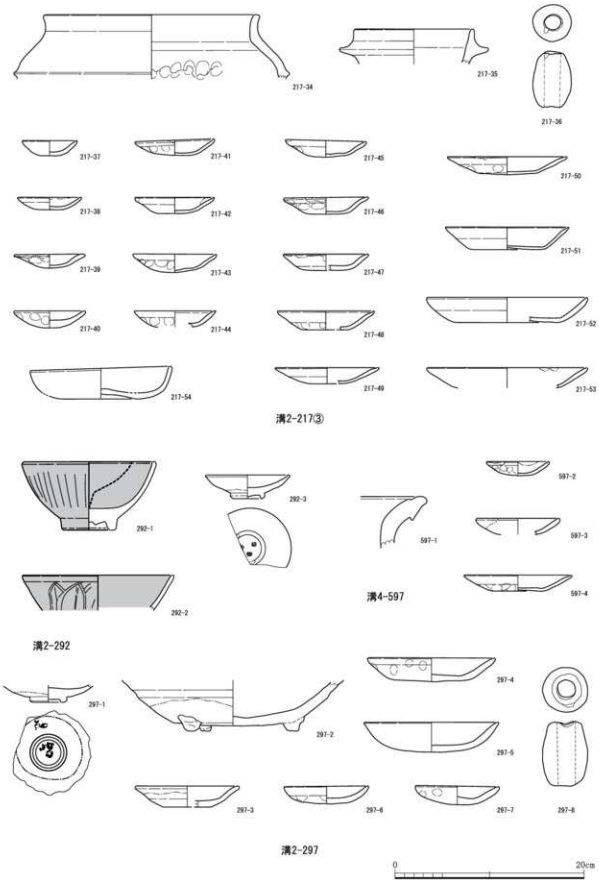


図147　土器・陶磁器⑩（S＝1／4）

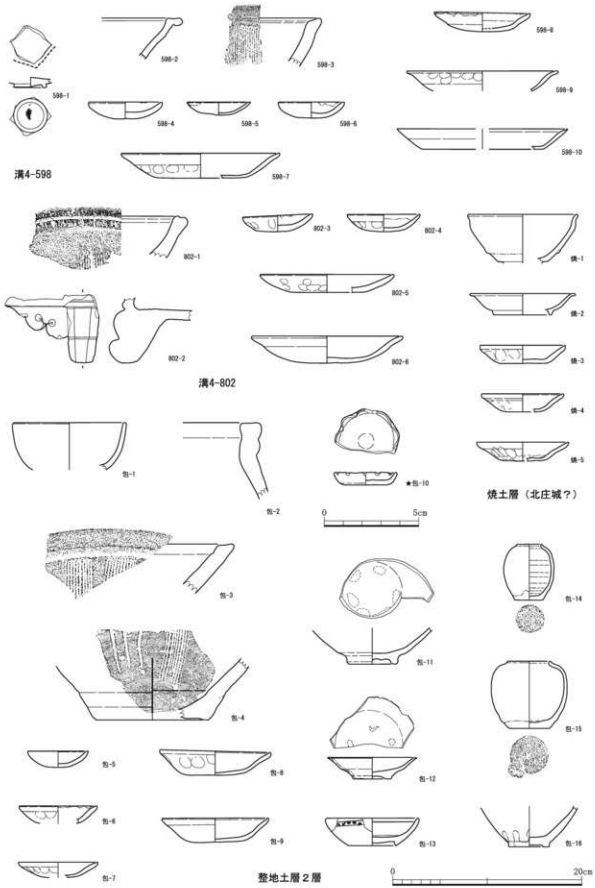


図148　土器・陶磁器⑪（S＝1/4、但し★＝1/2）

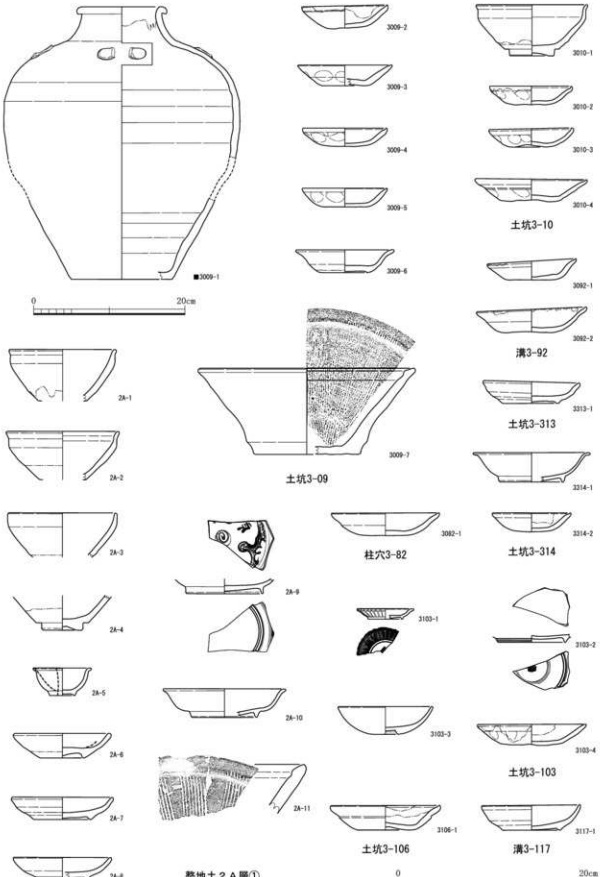


図149　土器・陶磁器⑫（Ｓ＝１/４、但し■＝１/５）

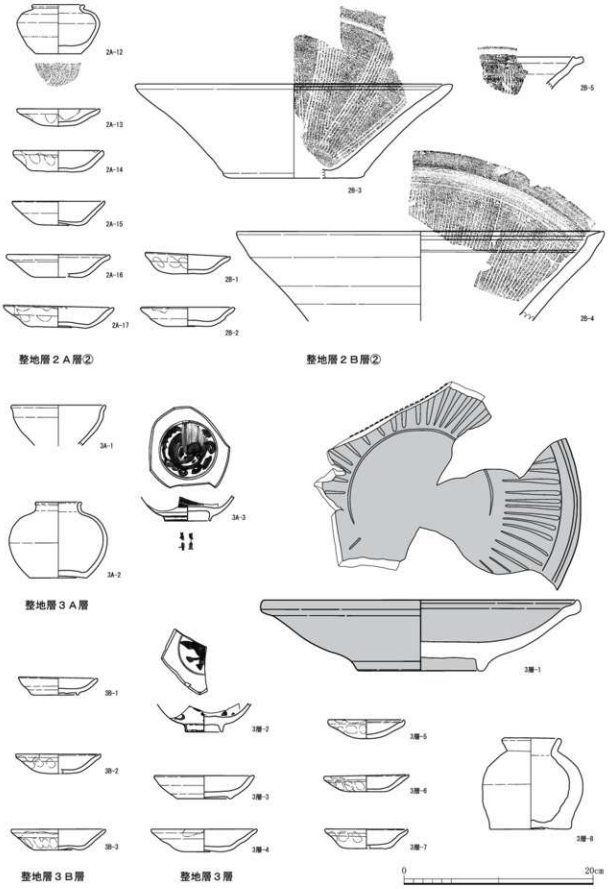


図150　土器・陶磁器⑬（Ｓ＝１／４）

表 20 土器・陶磁器観察表（遺構別）

石垣 裏込 (FKJ02 4 B 5) 図138

図版	番号	土師器 石師器 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
石垣 1	皿	瀬戸・美濃			(9.9)	鉄釉			ｷ 120
石垣 2	碗底	越前			(4.3)		糸切	畳目 3.3cm 3条	ｷ 120
石垣 3	土師器		8.8		1.9		底に凹 糸切	粗ﾅﾃﾞ、横撫、口縁 ﾖｺﾅﾃﾞ、外 回しﾅﾃﾞ ｻﾞ	ｷ 120

石垣 下層 (FKJ02 4 B 5) 図138

図版	番号	土師器 石師器 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
石下 1	皿	中国（龍泉窯）		6.8		緑灰			ﾍ 060
石下 2	碗底	越前	(40.0)		(4.5)			口縁下沈線	ﾍ 060
石下 3	碗	越前			(9.05)			鉄	ﾍ 058
石下 4	碗底	越前			(4.6)			畳目 3.6cm	?	ﾍ 059

板石通路上 FKJ02 2-4-10 A 4~ 6 B 5~6図 138~139

図版	番号	土師器 石師器 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
板石 1	鉢	中国（龍泉窯）		5.4	(3.5)	青磁	底山 回転		ｷ 122
板石 2	碗	越前			(12.75)				ﾍ 058
板石 3	碗	瀬戸・美濃		3.9	(1.95)	灰釉	底山 回転、高台貼り		ｷ 136
板石 4	八角小坪	中国	7.7	3.2	3.05	白磁	相馬窯、淡緑ｻﾞ		ｷ 112
板石 5	天目碗	瀬戸・美濃		4.2	(4.6)	鉄釉 褐釉	鐵釉部鉄釉		ｷ 138
板石 6	土師器		10.0		3.25	仁品 焼雑色	底山 糸ﾅﾃﾞ 回しﾅﾃﾞ		ｷ 120
板石 7	土師器	あり	10.0		2.4	仁品 焼雑色	底山 回しﾅﾃﾞ、横撫、外 回しﾅﾃﾞ ｻﾞ		ｷ 121
板石 8	土師器		11.75		2.7	仁品 焼雑色	底山 糸ﾅﾃﾞ、回しﾅﾃﾞ、横撫		ｷ 135
板石 9	赤焼？	南海？	12.0	10.4	(13.0)	焼締	粘土紐巻、一重口		ｷ 123
板石 10	碗	越前	28.0		(9.45)		淡緑ｻﾞ、刷目あり		ｷ 119
板石 11	碗底	越前	(32.0)		(9.6)		畳目 3.5cm 3条、口縁直下沈線		ｷ 123
板石 12	碗底	越前	33.4	15.0	11.4		畳目 2.6cm 10条、口縁直下沈線		ｷ 127
板石 13	皿	瀬戸	10.2	5.7	2.25	灰釉	底部高台輪 ﾍﾗ状あり		ｷ 059
板石 14	土師器	あり	10.2		2.35	仁品 焼雑色	底山 糸ﾅﾃﾞ、回しﾅﾃﾞ、外 回しﾅﾃﾞ		ｷ 059
板石 15	刮面	越前	18.4	17.0	3.1				ｷ 513
板石 16	碗	越前			(7.75)				ｷ 056
板石 17	碗底	越前	34.6	16.7	10.7		畳目 3.0cm 10条、口縁直下沈線、外 鐵釉丸		ｷ 034
板石 18	碗底	越前	(26.0)		(6.55)		畳目 3.1cm 11条、口縁下沈線	強か	ｷ 011
板石 19	碗底	越前			(7.35)		畳目 3.1cm 11条、口縁下沈線	強か	ｷ 012
板石 20	碗	越前			(14.9)		外 回		ｷ 035

井戸 4 510D FKJ02 4 B 7図 139

図版	番号	土師器 石師器 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
井 1	碗（赤焼写し）	瀬戸・美濃	15.4	4.8	6.15	灰釉	ヘラ削り(糸ﾅﾃﾞ)		ひ 060

井戸 4 595 FKJ02 4 B 8図 139

図版	番号	土師器 石師器 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
井 2	土師器	なし	7.2		2.0	灰黄色	内 回しﾅﾃﾞ指頭ｵｻｴ		ｷ 080
井 3	土師器	なし	8.0		2.05	仁品 焼雑色	内 回しﾅﾃﾞ指頭ｵｻｴ		ｷ 081
井 3	時花盆	中国（龍泉窯）	14.0	5.8	3.3	青磁			ｷ 084

井戸 4 650 FKJ02 4 B 2図 139

図版	番号	土師器 石師器 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
井 1	鉢	瀬戸・美濃		10.1	(6.3)	鉄釉	大型鉢		ｼ 091

井戸 4 94 FKJ02 9 C 8図 139

図版	番号	土師器 石師器 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
井 4	碗底	瀬戸			(9.2)	灰釉	古瀬戸		ｼ 116

井戸 9 12 FKJ02 9 C 7図 139

図版	番号	土師器 石師器 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
井 1	碗底	瀬戸			(8.7)	灰釉	古瀬戸		ｼ 123
井 2	碗底	越前	39.0		(11.6)		畳目 3.5cm 13条、内面保付着	大鉢として使用されたか	ｼ 133

井戸 9 130 FKJ02 9 C 8~9図 139

図版	番号	土師器 石師器 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
井 10	土師器	なし	8.0		2.0	淡灰黄色	体部以下指ｵｻｴ、外底面板状痕		ｼ 129
井 10	土師器	なし	8.4		2.2	淡灰黄色	内 回しﾅﾃﾞ、外底面板状痕		ｼ 128
井 10	土師器	なし	8.4		1.7	灰白色	底山 糸ﾅﾃﾞ、回しﾅﾃﾞ		ｼ 127
井 10	土師器	なし	9.2		1.8	淡灰黄色	底山 糸ﾅﾃﾞ、回しﾅﾃﾞ、外 回しﾅﾃﾞ ｻﾞ		ｼ 130
井 10	土師器	あり	15.0		(2.8)	灰白色	底山 ﾍﾗ 回しﾅﾃﾞ		ｼ 085
井 10	碗底	越前	32.8	13.0	11.4		畳目 3cm 14条		ｼ 086

井戸 9 95 FKJ02 9 C 9図 139

図版	番号	土師器 石師器 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
井 1	土師器	なし	14.0		2.15	灰褐色	底 糸ﾅﾃﾞ ﾖｺﾅﾃﾞ		ｼ 115
井 2	鉢	中国（龍泉窯）	9.6		(3.1)	青磁	内 櫛刷毛目		ｼ 119

井戸 9 222 FKJ02 9 C 7図 139

図版	番号	土師器 石師器 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
井 22 1	鉢	中国（龍泉窯）	13.8	5.2	8.08	青磁	底山 回転		ｼ 094
井 22 2	土師器	なし	8.8		2.08	仁品 焼雑色	底山 糸ﾅﾃﾞ、回しﾅﾃﾞ		ｼ 097
井 22 3	須恵器	瀬戸	30.4		(6.65)	灰釉	淡緑ｻﾞ		ｼ 098
井 22 4	碗底	越前	35.35	15.7	14.05		畳目 3.2cm 13条、口縁下 1.7cm沈線		ｼ 096

井戸 10 1009 FKJ02 10 C 2区 140

図版	種類	土師器 石石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
1009 1	縄石器	瀬戸・美濃	10.6	5.8	2.5	灰釉			U 046
1009 2	銭	中国 (徳永堂)	12.0		(4.1)	真鍮	外 銭形彫井		U 051
1009 3	土師器	あり	(8.8)	4.6	2.2	淡黄橙色	底は 縦ナデ, 回しナデ, 外 縦ナデ		U 040
1009 4	土師器	なし	10.0		2.2	淡黄橙色	底は 縦ナデ, 回しナデ		U 052
1009 5	土師器	なし	(34.9)		2.55	石,石ノ橙色	底は 巾 回しナデ		U 039
1009 6	銭	越前			(4.5)			銭	U 022
1009 7	銭	越前			(5.0)			銭	U 023
1009 8	銭	越前			(4.9)			銭	U 021
1009 9	陶器	越前			(7.0)		復原 3.7cm 34B		U 059
1009 10	陶器	越前		12.0	7.5		復原 7.8cm 88C	〃	U 060
1009 11	陶器	越前	24.8	11.6	8.5		復原 7.4cm 88C	鉢〃	U 061

土坑 4 583 FKJ02 4 B 1区 140

図版	種類	土師器 石石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
583 1	小皿	中国	7.7	4.0	1.8	白磁	底高台, 高台内まで全面施釉		U 110
583 2	陶器	越前	(30.6		(2.9)		口縁下 3.5緑		C 096

土坑 4 587 FKJ02 4 B 9区 140

図版	種類	土師器 石石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
587 1	木製品	不明	(12.0		(6.3)	鉄釉, 銹釉	側面部銹釉		U 114
587 2	皿	瀬戸・美濃		5.9		灰釉	底 輪ナデ痕		U 115
587 3	鉢か	瀬戸	38.7	8.4	12.8	鉄釉	大部, 胴部孔, 口縁波状	復原 直径 4.586	C 143
587 4	陶器	越前	41.2	18.0	10.4		口縁下 2.5緑, 胴部孔,		U 128
587 5	土師器	あり	6.3		1.5	淡黄橙色	内 C調 回しナデ		U 112
587 6	土師器	あり	8.7		1.8	石,石ノ橙色	底は 縦ナデ, 回しナデ, 口縁 刃の跡		U 103
587 7	土師器	あり	8.5		1.55	灰褐色		ロ-ハ-和	U 104
587 8	土師器	なし	13.6		2.5	淡黄橙色	底は 縦ナデ, 回しナデ, 横撫, 外 回しナデ 1.2		U 102

土坑 4 594 FKJ02 4 B 8区 140

図版	種類	土師器 石石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
594 1	銭	中国 (永乾堂)	12.2	4.4	3.79	金付		銭	銭
594 2	土師器	なし	8.7		2.0	淡黄色	内 回しナデ指頭色		色
594 3	陶器	越前			(5.4)		口縁下 1.7cm灰釉	鉢	鉢

土坑 4 806A FKJ02 4 B 7区 140

図版	種類	土師器 石石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
806 1	縄石器	中国 (徳永堂)	12.0	4.6	2.55	金付			銭
806 2	銭	瀬戸・美濃	12.4		(4.4)	灰釉	強刻模様あり		銭
806 3	皿	中国	11.5	4.6	2.95	白磁	高台部側面, 高台内 底面で凝固 7, 赤茶少量付着		銭

土坑 4 811 FKJ02 4 B 1区 141

図版	種類	土師器 石石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
811 1	鉄砲	越前	長 17.7	幅 17.75	厚 5.09	片面自然釉			色 085

土坑 4 839 FKJ02 4 B 1区 141

図版	種類	土師器 石石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
839 1	木目取輪	瀬戸・美濃	12.0	4.35	6.5	鉄釉	大部 面取部銹釉	大聚	銭 005
839 2	皿	中国	11.2	4.5	2.7	白磁	高台切り痕, 高台内まで施釉		銭 004
839 3	皿	中国	10.2	3.6	3.05	金付	鉄銹痕, 外 銹痕状		銭 006
839 4	小皿	瀬戸	5.2	2.1	1.4	鉄釉	糸切痕, 底部 同焼跡		C 139

土坑 9 31 FKJ02 9 C 8-9区 141

図版	種類	土師器 石石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
031 1	縄石器	中国 (唐徳堂)	9.6	5.2	2.2	金付			ひ 077
031 2	皿	中国 (唐徳堂)	11.8	3.5	3.4	金付	銹箔痕		ひ 078
031 3	土師器	あり	8.7		1.9	石,石ノ橙色	底は 回しナデ指指圧		ひ 079
031 4	土師器	なし	8.7		1.85	淡黄橙色	内 巾 回しナデ,		ひ 081
031 5	陶器	越前	33.2	14.9	10.45		復原 2.9cm 88C, 口縁 下2.5緑	鉢	ひ 082
031 6	鉢	越前	31.2		(5.7)		口縁 波 1緑し		ひ 080
031 7	片口鉢	越前	8.4		(3.3		注口内面そそぎ部		ひ 084
031 8	片口鉢	越前		11.4	(6.3)				ひ 083

土坑 9 76 FKJ02 9 C 8-9区 141

図版	種類	土師器 石石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
076 1	鉢	中国 (徳永堂)	(10.0)		(3.2)	青磁	外 縦線刻模様		ひ 096
076 2	土師器	なし	8.0		1.95	灰黄色	内 巾 回しナデ		ひ 088
076 3	皿	中国 (徳永堂)		8.4	(2.4)	青磁	底は 彫深		ひ 091
076 4	大皿	瀬戸	(30.0)		(2.6)	灰釉	底縁状		ひ 089
076 5	水差	瀬戸	2.3	3.2	2.6	鉄釉	糸切痕		ひ 090

土坑 9 129 FKJ02 9 C 8区 141-142

図版	種類	土師器 石石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
9129 1	銭	中国 (徳永堂)	15.3	6.6	9.4	青磁釉	底は 砂粒 粒 7,	復原 直径 9 40-30-31	ム 132
9129 2	銭	中国 (徳永堂)		5.7	(3.1)	青磁釉	底は口印 雷数 7, 外 面縦線撫		ム 130
9129 3	陶器	中国 (唐徳堂)	12.2	7.0	2.9	金付	底は 当 取跡 7		ム 129
9129 4	陶器	越前			(7.8)			鉢	ヘ 032
9129 5	土師器	なし	6.3		1.3	灰白色	底は 回しナデ指指色, 口縁 刃 跡		ヘ 028
9129 6	土師器	なし	7.2		1.7	灰白色	平底な, 底は 回しナデ		ヘ 025
9129 7	瓶類		6.15		2.75				ヘ 024
9129 8	土師器	あり	8.7		1.8	灰白色	底は 回しナデ, 口縁 刃 跡		ヘ 027
9129 9	土師器	あり	8.6		1.75	灰白色	底は 縦ナデ, 回しナデ, 口縁 刃 跡		ヘ 026
9129 10	土師器	あり	8.4		1.75	灰白色	底は 縦ナデ, 回しナデ, 口縁 刃 跡		ヘ 029
9129 11	土師器	なし	(23.2)	17.0	2.4	灰白色	底は 縦ナデ, 撫痕, 外 回しナデ		ヘ 021
9129 12	陶器	越前	33.2	14.0	11.3		復原 12 8cm 88 7	鉢, 復原 直径 9 31	ヘ 020

土坑 10 1056 FKJ02 10 C 1区 142

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
1056 1	陶器皿	中国 (景德鎮)	12.0	6.3	2.2	白磁			D 040
1056 2	陶器皿	中国	9.5	4.5	2.45	白磁	型成輪目へラ削		D 040
1056 3	土師器皿	なし	9.0		2.0	浅黄橙色	明瞭 縦ナデ, 底ヘラ, 底縁, 口縁 ワ状		D 054

土坑 10 1135 FKJ02 10 C 2区 142

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
1135 1	鍋	中国 (龍泉窯)		5.3	(3.4)	青磁	明瞭 刻花		D 139

土坑 10 1138 FKJ02 10 C 5区 142

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
1138 1	鉢相当	瀬戸	20.8	5.3	2.7	灰釉	糸切底		D 060
1138 2	土師器皿	なし	14.0		(2.6)	灰白色	見 回しナデ, 風縁, 外 回しナデ		D 179

土坑 10 1338 FKJ02 10 C 1-2区 142

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
1338 1	鉢相当	瀬戸	30.0	4.6	2.75	灰釉	糸切底		D 060
1338 2	小鉢	瀬戸		4.6	(5.5)	灰釉		接合 遺構 10 1133	D 062

土坑 10 1281 FKJ02 10 C 5区 142

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
1281 1	鉢利	瀬戸		11.2	(19.2)	灰釉	粗土使用 不安色土, 胴部に刻印, 内面 同心円状色, 器壁薄い (3~4mm)		D 081

土器埋設遺構 10 5015 FKJ02 10 C 6区 142

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
5015 1	土師器皿	なし	7.25		1.6	にぶい橙色	口縁 回しナデ	1型式	D 068
5015 2	土師器皿	なし	7.4		1.55	にぶい橙色	口縁 回しナデ	1型式	D 067
5015 3	土師器皿	なし	(9.9)		1.85	白灰色	内 回しナデ, 外 回し目ナデ		D 069

土器埋設遺構 4 522 FKJ02 4 B 1区 142

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
522 1	陶器皿	中国 (景德鎮)	11.9	5.9	2.7	白磁	被熱により内外面黒くすすけている		D 021
522 2	皿		12.7		(5.55)	鉄釉			D 096
522 3	大皿	越前	43.8	28.9	96.2			接合 遺構 4 526	C 125
522 4	甕	越前	(98.0)		(20.5)		胴部波状		D 128
522 5	甕	越前	34.2		(33.2)		胴部波状		D 134

土器埋設遺構 9 123 FKJ02 9 C 7区 143

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
9123 1	大甕	越前	92.0	34.0	82.5	自然釉	胴部に波状	接合 遺構 9 309 2層	C 130

土器埋設遺構 4 520 FKJ02 4 B 2区 144

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
520 1	片口鉢	越前	15.1	15.0	27.0	自然釉	注口, 第10 鍋形 1 内外面に紐又は菜種油 (? 内外行者, 底部に板状痕	前	C 096

土器埋設遺構 4 528 FKJ02 4 B 1区 144

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
528 1	鉢	越前	20.0		(18.05)			前	C 099

溝 4 600 FKJ02 4~10 B-C 4区 144

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
600 1	小皿	中国 (景德鎮)	6.4	2.5	4.0	白付	型成八角形		D 062
600 2	陶器皿	中国 (景德鎮)	11.6	6.3	2.6	白磁	高台深		D 066
600 3	土師器皿	あり	8.8		2.5	灰黄色	見 縦ナデ回しナデ		D 070
600 4	鉢相当	瀬戸	30.0	5.0	1.95	鉄釉	糸切底		C 093
600 5	土師器皿	あり	11.9	6.0	1.95	浅赤橙色	明瞭 風縁, 外面ナデ目		C 094
600 6	鉢鍋	越前	32.0		(9.3)		口縁部面三角, 口縁下沈線	前	D 126

溝 10 1147 FKJ02 4 A 2区 144

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
1147 1	土師器皿	なし	7.9		1.85	浅黄橙色	見 回しナデ, 外 回しナデ 1-2		C 062
1147 2	土師器皿	なし	13.2	8.0	2.0	浅灰黄色	見 縦ナデ, 底ヘラ, 風縁, 外 回しナデ 1-2		C 140

柱穴 4 812 FKJ02 4 B 1区 144

図版	遺構	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
812 1	土師器皿	なし	4.65		2.1	浅黄橙色	見 回しナデ指頭痕, 口縁 つまむ		東 050
812 2	土師器皿	あり	9.6		2.4	黄橙色	見 回しナデ, 風縁, 口縁 つまむ		東 050
812 3	土師器皿	なし	11.5		2.6	浅黄橙色	見 回しナデ, 風縁, 口縁 つまむ		東 050

図 2 207 FKJ02 2-4 A 8 B 8-9図 144

図版	器種	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
207 1	甕蓋	越前	17.6	9.6	8.8		付高台		D 152
207 2	鉢蓋	瀬戸	9.7	4.7	1.8	灰釉	糸切底		D 152
207 3	椀蓋	瀬戸高原	(11.0)	5.5	2.3	灰釉	見込 高台内		D 094
207 4	陶器蓋	中国 (朝鮮窯)	13.0	6.9	2.75	青磁			D 153
207 5	瓶類	越前	(30.0)				頸部2.8cm 10条、口縁下沈線		D 159
207 6	瓶類	越前			(2.5)		口縁下沈線		5 154
207 7	甕	越前			(7.45)				D 095
207 8	土師器皿	在	5.8		1.18	灰白色	見込 縦ナデ、回ヒナデ、口縁 ヨコ撫で		5 207
207 9	土師器皿	なし	6.4		1.5	浅黄橙色	見 縦ナデ回ヒナデ指圧痕、口縁 回ヒナデヨコ撫で		D 155
207 10	土師器皿	あり	6.3		1.45	黄橙色	見 縦ナデ回ヒナデ、圏線、口縁 回ヒナデ		D 157
207 11	土師器皿	あり	6.4		1.25	黄橙色	見 縦ナデ、回ヒナデ指圧痕		D 159
207 12	土師器皿		6.4		1.5	灰白色			5 158
207 13	土師器皿		8.0		(1.75)	にぶい橙色	にぶい橙色		5 113
207 14	土師器皿	あり	8.95		1.88	にぶい橙褐色	見ム 回ヒナデ指圧痕		5 155
207 15	土師器皿		8.8		1.7	灰白色	見ム 縦ナデ、回ヒナデ、口縁 ヨコ撫で		5 159
207 16	土師器皿	あり	9.0		1.7	黄橙色	内 ミガキ 回ヒナデ、体部 ヨコ撫で		D 153
207 17	土師器皿	なし	10.2	4.6	2.0	にぶい橙色			D 099
207 18	土師器皿	なし	13.0		(2.0)	にぶい橙褐色	見 縦ナデ回ヒナデ、圏線、外 回ヒナデ		D 155
207 19	土師器皿		12.4		2.05	外面 浅黄色 内面 にぶい橙色	見ム 縦ナデ、回ヒナデ、圏線、口縁 ヨコ撫で		5 159
207 20	土師器皿		12.8		2.15	灰白色	見ム 縦ナデ、回ヒナデ、圏線、口縁 ヨコ撫で		5 112
207 21	土師器皿	あり	13.2		2.1	黄橙色	見 縦ナデ回ヒナデ、圏線、外 回ヒナデ		D 151
207 22	土師器皿	あり	14.0		2.0	にぶい黄橙色	見 縦ナデ、回ヒナデ、圏線、外 回ヒナデ		D 155

図 2 217 FKJ02 2 A・B 7～9図 145～147

図版	器種	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
217 1	鉢	中国 (朝鮮窯)		5.6	(4.3)	青磁	外 縦刷毛目、見ム 刻花		D 158
217 2	鉢	中国 (朝鮮窯)		6.2	(4.4)	青磁	見ム 回転		C 145
217 3	鉢	中国 (朝鮮窯)		5.2	(5.6)	青磁	底縁不、見ム 刻花		D 095
217 4	皿	中国 (朝鮮窯)	8.8	5.0	2.6	青磁	底縁不明		C 145
217 5	椀型皿	中国 (朝鮮窯)	12.2	5.4	3.0	青磁			D 098
217 6	鉢？	中国 (朝鮮窯)			(3.7)	青磁			D 153
217 7	酒会壺蓋	中国 (朝鮮窯)	29.1	摩耗 17.5	6.2	青磁	底縁不明、外面刻花片彫、内面刻花		C 146
217 8	瓶形皿	中国	13.0	6.9	3.2	白磁	底縁不明		C 146
217 9	瓶形皿	瀬戸高原	11.4	6.2	2.55	灰釉	底 鋸 ヘラ痕		D 158
217 10	瓶形皿	中国 (唐磁器)	11.4	6.4	2.9	白磁			D 153
217 11	瓶形皿	中国 (唐磁器)	11.6	6.0	3.2	白磁			D 155
217 12	小皿	中国	9.0	3.8	1.95	白磁	高台		D 152
217 13	小皿	中国		2.0	(1.1)	白磁	高台周囲削出に打ち込む		D 152
217 14	椀？	中国 (唐磁器)		4.6	(2.1)	白磁	底平		D 153
217 15	天目碗	瀬戸高原	12.0		(5.8)	鉄釉 銅釉	露胎部銅釉		D 156
217 16	天目茶碗	瀬戸高原		4.3		鉄釉 銅釉	高台内刻線一文字		D 159
217 17	天目小椀	瀬戸高原		3.2		鉄釉 銅釉	高台内刻野線整理		D 159
217 18	鉢	中国 (朝鮮窯)	14.2		(5.4)	青磁			D 153
217 19	小皿	唐津	(12.0		(2.3)	藁灰平			C 153
217 20	鉢？	瀬戸高原		5.2	(3.3)	灰釉	見ム 回転 2cm		C 146
217 21	代 (江戸時)	なし		(8.0)	(2.6)	淡黄色		古代	D 153
217 22	鉢蓋	瀬戸		7.5	(1.15)		糸切底		D 099
217 23	浄瓶	古瀬戸			(3.1)	灰釉			D 153
217 24	椀蓋形器台	瀬戸		6.7	(3.50)	鉄釉	底 糸切底、脚		D 157
217 25	瓶類	越前	37.0	16.0	13.7		口縁 (3)~略C 1条、頸部段差 7~8cm段目なし		C 154
217 26	瓶類	越前			(7.2)		頸径 2.5~3.0cm、口縁下 1.3cm程		D 155
217 27	瓶類	越前	35.0		(7.35)		頸径 3.1cm 1条	第一 群	D 094
217 28	瓶類	越前	(36.0)		(6.2)		口縁 (3)~略C 1条 ↓、口縁下 1沈線		C 146
217 29	瓶類	越前	(33.4	(13.8)	7.75		口縁下 1cm沈線	第	D 158
217 30	瓶類	越前	34.2		(7.9)		頸径 2.2cm 1条	第	D 158
217 31	瓶類	越前		16.0	13.4		頸径 3cm 1条、口縁下 1.3cm沈線		D 154
217 32	甕	越前			(5.5)		頸部2条		D 153
217 33	甕	常滑		7.9	(7.4)				D 153
217 34	壺	越前	(22.0)		(6.6)				D 153
217 35	羽釜		12.7		(3.7)	淡灰黄色		1面保付着	C 153
217 36	土鍋	越前	在 5.9	端 4.0 内径 1.7	厚 3.9				D 128
217 37	土師器皿	なし	5.8		1.6	灰白色			D 099
217 38	土師器皿	あり	6.6		1.3	灰白色	内 回ヒナデ、外 回ヒナデ		D 127
217 39	土師器皿	あり	7.5		1.5	灰白色	内 回ヒナデ、外 回ヒナデ		D 128
217 40	土師器皿	なし	7.6		1.8	灰黄色	内 回ヒナデ		D 128
217 41	土師器皿	あり	8.4		1.75	浅黄橙色	見 縦ナデ、回ヒ&ホテデ		C 150
217 42	土師器皿	あり	8.6		1.7	灰黄色	内 回ヒナデ、外 回ヒナデ		D 128
217 43	土師器皿	なし	8.9		1.95	灰白色	内 回ヒナデ、外 回ヒナデ		D 128
217 44	土師器皿	なし	8.6		(1.7)	浅黄橙色	見 縦ナデ回ヒナデ		D 158
217 45	土師器皿	あり	8.6		1.85	淡黄色	見 回ヒナデ指圧痕、口縁 回ヒナデヨコ撫で		D 095
217 46	土師器皿	あり	9.0		1.8	にぶい黄橙色	見 縦ナデ回ヒナデ、口 回ヒナデ		D 104
217 47	土師器皿	あり	9.0		1.7	褐灰黄色	内 回ヒナデ、外 回ヒナデ		D 151
217 48	土師器皿	なし	10.2		2.0	灰白色	見 縦ナデ、回ヒナデ、圏線、外 回ヒナデ		D 151
217 49	土師器皿	なし	11.0		1.7	灰白色	内 回ヒナデ、外 回ヒナデ		D 128
217 50	土師器皿	あり	12.6		1.9	灰褐色		糸痕	C 146
217 51	土師器皿	なし	13.0		2.4	灰白色	見 回ヒナデ、圏線、外 回ヒナデ↑↓		D 104
217 52	土師器皿	なし	17.0	10.6	2.65	灰白色	見 回ヒナデ、圏線、外 回ヒナデ↑↓		D 103
217 53	土師器皿	あり	17.0		(2.10)	灰白色	内 回ヒナデ、外 回ヒナデ		D 128
217 54	土師器皿	なし	15.0	8.5	3.45	にぶい褐色	口縁 縦ナデ	1箇記	D 096

図 2 292 FKJ02 2 B 7-8 C 8図 147

図版	器種	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
292 1	鉢	中国 (朝鮮窯)	14.2	5.7	7.25	青磁	縦線刻、底縁不		D 148
292 2	鉢	中国 (朝鮮窯)	16.0		(3.75)	青磁	縦線刻		D 150
292 3	皿	中国	8.9	3.6	2.5	白磁	底縁、見ム 刻花、高台内 線書ニ文字		D 153

図 4 597 FKJ02 4 B 9図 147

図版	器種	土師器 石石器類 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
597 1	碗								D 156
597 2	土師器皿	あり	6.6		1.5	にぶい黄橙色	平底な、コビキヤリ痕ナデ仕上げ		D 103
597 3	土師器皿	あり	(8.8)	(4.4)	(1.7)	褐灰黄色	見 縦ナデ回ヒナデ、口 回ヒナデ		D 102
597 4	土師器皿	なし	11.4		2.2	灰白色	見 縦ナデ回ヒナデ、圏線、口 回ヒナデ		D 151

遺 2 297 FKJ02 2 B 7-8図 147

図版	遺構	土師器 打石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
297 1	鉢	中国		3.3	(1.8)	白磁	胎土粗質、高台内赤茶褐色斑		ち 148
297 2	深鉢	瀬戸		13.6	(5.4)	灰釉	型		ち 099
297 3	擂鉢底	瀬戸	11.0	5.0	2.22	灰釉	外切底		ち 101
297 4	土師質皿	なし	13.55		2.65	にぶい橙色	見 回しナデ、外 回しナデ		ち 108
297 5	土師質皿	なし	14.3		3.15	にぶい黄橙色	見 回しナデ、外 回しナデ		ち 102
297 6	土師質皿	なし	8.95		1.9	橙色	見 横ナデ、回しナデ、外 回しナデ 1 2		ち 104
297 7	土師質皿		8.9		2.05	にぶい黄橙色	見 回しナデ		ち 106
297 8	土師		長 6.82	幅 4.72	厚さ 2.1	にぶい黄橙色	見 回しナデ		ち 103

遺 4 598 FKJ02 4-9 B-C 9図 148

図版	遺構	土師器 打石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
598 1	石器	中国		3.5		白磁	粗質、高台部露胎、底部釉掛、高台内赤褐色斑有		え 052
598 2	深鉢	瀬戸	(30.0)			灰釉	古瀬戸	古瀬戸後期	え 053
598 3	鍋蓋	越前					復元 2.8cm 148	後 b	え 051
598 4	土師質皿	あり	7.8		1.75	灰白色			え 059
598 5	土師質皿	あり	6.7		1.4	灰白色	見ム 回しナデ、指圧ボビ調ツ痕		え 140
598 6	土師質皿	あり	7.0		1.7	赤橙色	見 回しナデ指圧痕		え 098
598 7	土師質皿	なし	16.8	9.9	2.6	浅黄橙色	見 横ナデ、回しナデ、指圧、外 横ナデ		え 057
598 8	土師質皿	あり	10.15		2.1	灰橙色	見 横ナデ、回しナデ、外 回しナデ、見ムは底部に向かう		え 124
598 9	土師質皿	なし	16.0		(2.1)	灰黄色	見 横ナデ、回しナデ、指圧、外 横ナデ		え 121
598 10	土師質皿	あり	(18.0)		2.15	灰白色	見 横ナデ、回しナデ、指圧、外 横ナデ		え 126

遺 4 802 FKJ02 9 C 9図 148

図版	遺構	土師器 打石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
802 1	鍋蓋	越前	29.4		(4.4)		復元 2.8cm 148	後	え 110
802 2	鉢(ボ・鉢)	五貫工器			(7.2)				え 138
802 3	土師質皿	あり	7.4		1.9	浅黄橙色	口縁 回しナデ		え 122
802 4	土師質皿	あり	7.7		1.85	浅灰橙色	口縁 回しナデ		え 123
802 5	土師質皿	なし	14.2		1.9	浅灰橙色	内外 横ナデ		え 120
802 6	土師質皿	あり	(16.0)		2.85	灰黄色	見 横ナデ回しナデ、外 回ナデ		え 121

遺土層 (北地域 7) FKJ02 10 C 1図 148

図版	遺構	土師器 打石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
地 1	石器類	瀬戸美濃	11.6		(5.2)	鉄釉 磁器	磁器形部鍋蓋		ひ 126
地 2	鍋蓋	中国 (青磁鍋)	11.2	6.1	2.25	白磁			ひ 127
地 3	土師質皿	なし	9.0		1.9	浅黄橙色	見 回しナデ、口 回しナデ(ヲ調ツ)		ひ 124
地 4	土師質皿	なし	8.7		1.9	浅黄橙色	見 回しナデ、口 回しナデ(ヲ調ツ)		ひ 125
地 5	土師質皿	なし	9.7		2.1	浅黄橙色	見 回しナデ、口 回しナデ		ひ 123

遺 FKJ02 4-10 B 3-4 C 1-4-6図 148

図版	遺構	土師器 打石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
遺 1	鍋	中国?	12.0		(3.0)	青磁鍋			ひ 110
遺 2	鍋	越前			(8.1)				ひ 113
遺 3	鍋蓋	越前	(40.0)		(5.2)		復元 3cm 148、口縁ヲ活用		ひ 115
遺 4	土師質皿	なし	6.4		1.7	浅黄橙色	内 回しナデ指圧ボ		ひ 140
遺 5	土師質皿	あり	8.2		(1.8)	灰白色	内 回しナデ、口縁ヲ刻ミ		ひ 145
遺 6	土師質皿	なし	8.4		(1.6)	灰白色	内 回しナデ、口 回しナデ		ひ 142
遺 7	土師質皿	なし	11.8		2.7	黄橙色	見ム 回しナデ、指圧、口縁 回しナデ		ひ 131
遺 8	土師質皿	なし	11.3		2.6	橙色	見ム 回しナデ、指圧、口縁 回しナデ		ひ 130
遺 9	入子皿	瀬戸	3.3	2.0	0.65	灰釉			ひ 139
遺 10	不明	越前		5.0	3.85	鉄釉 不	見ム 回ナデ 外不、指圧ム		ひ 135
遺 11	鉢	瀬戸?	9.4	4.0	2.25	灰釉	見ム 横ム 回ナデ 指ム 注口縁 ヲ外		ひ 132
遺 12	鍋	中国	9.9	5.0	2.9	白釉	底部底		ひ 136
遺 13	鉢入	瀬戸	2.6	3.0	5.9	鉄釉	底部糸切り		ひ 134
遺 14	鍋蓋	越前		12.0	(5.5)		復元 2.5cm 148、口縁、		へ 006
遺 15	深入	瀬戸美濃 (大窯)	4.6	4.2	7.1	鉄釉	底 糸切		ひ 099
遺 16	大型鉢	瀬戸		4.3	(4.4)	鉄釉	高台畳付部及 溶着痕		ひ 138

土坑 3 09 FKJ02 3 A 5-7 B 5図 149

図版	遺構	土師器 打石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
309 1	四耳壺 (容器)	瀬戸	11.9	(13.4)	(36.0)	鉄釉	輪積痕 (ボ) 底部付近顕		す 010
309 2	土師質皿	あり	9.15		2.4	にぶい黄橙色	見 回しナデ、口縁 (ヲ調ツ)		ち 031
309 3	土師質皿	なし	10.0		2.2	橙色	見 回しナデ、指圧、外 回しヨコナデ		ち 032
309 4	土師質皿	あり	9.0		2.45	明黄橙色	見 回しナデ、口縁 (ヲ調ツ)		ち 035
309 5	土師質皿	なし	9.0		2.0	明黄橙色	見 回しナデ、口縁 (ヲ調ツ)		ち 036
309 6	鉢	瀬戸	10.4	5.0	2.4	鉄釉			ち 038
309 7	鍋蓋	越前	23.0	11.4	9.15		復元 3cm 148、口縁ヲ活用		ち 039

土坑 3 10 FKJ02 3 B 6図 149

図版	遺構	土師器 打石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
310 1	大型鉢	瀬戸美濃	11.8	4.6	5.4	鉄釉 磁器	磁器形部鍋蓋		ち 030
310 2	土師質皿	あり	8.75		1.95	にぶい黄橙色	見 回しナデ、口縁 (ヲ調ツ)		ち 033
310 3	土師質皿	なし	9.0		1.95	橙色	見 横ナデ、回しナデ指圧ム、口縁 (ヲ調ツ)		ち 032
310 4	土師質皿	あり	11.9		2.4	暗黒黄色	見 横ナデ、回しナデ、外 回しヨコナデ		ち 034

遺 3 92 FKJ02 3 A 6図 149

図版	遺構	土師器 打石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
392 1	土師質皿	あり	9.4		2.25	浅黄橙色	見 横ナデ、回しナデ、指圧、外 回しナデ (ヲ調ツ)		そ 038
392 2	土師質皿	あり	11.7		2.7	にぶい橙色	見 横ナデ、回しナデ、指圧、外 回しナデ (ヲ調ツ)		そ 039

土坑 3 313 FKJ02 3 B 6図 149

図版	遺構	土師器 打石器類 (あり・なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・装飾	成形・調整・その他	備考	実測
313 1	鉢	瀬戸美濃	10.2	5.9	2.45	灰釉	高台内 無 ナデ痕		そ 040

土坑 3 314 FKJ02 3 B 6図149

図版	遺構	土師器 石石器 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
314-1	縄系図	中国 (唐時期)	12.4	7.0	3.1	白磁			そ 041
314-2	土師器	あり	8.4		2.0	にぶい橙色	見 縦ナデ, 回しナデ指痕あ, ,口縁 ブ)剥石		そ 042

柱穴 3 82 FKJ02 3 B 8図149

図版	遺構	土師器 石石器 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
382-1	土師器	なし	11.4		2.9		見 縦ナデ, 回しナデ, 外 回しおナデ, 口縁 ブ)剥石		そ 037

土坑 3 103 FKJ02 3 B 8図149

図版	遺構	土師器 石石器 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
103-1	縄系図	中国 (唐代)	6.0	3.7	1.1	浅黄橙 (調整	高台内刻印, 型押し(6)?, 浅黄 ひな	接合 (連構) 228-225	サ 026
103-2	土師器	中国 (唐時期)		7.0	(0.82)	染付			サ 025
103-3	白磁	中国	10.1	2.6	2.9	白磁	畳刷痕	硬質に近 胎土は、 緻	サ 027
103-4	土師器	あり	11.5		2.25	浅黄橙色	見 縦ナデ後ヨこナデ, 圧痕		サ 027

土坑 3 106A FKJ02 3 B 8図149

図版	遺構	土師器 石石器 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
106-1	土師器	あり	11.7		2.6	にぶい橙色	見 縦ナデ, 回しナデ, 外 回しおナデ		そ 043

溝 3 117 FKJ02 3 A 7図149

図版	遺構	土師器 石石器 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
117-1	鉄	瀬戸焼系	10.1	6.15	2.65	灰釉		大型鉄鍋	そ 044

2A図 FKJ02 3 A~C 6~ 8図149・150

図版	遺構	土師器 石石器 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
2A-1	太田銅	瀬戸系産	11.4		(5.46)	鉄釉, 銅釉	銅製鉄鍋釉		た 045
2A-2	太田銅	瀬戸系産	32.0		(5.1)	鉄釉		大型鉄鍋	た 046
2A-3	太田銅	瀬戸系産	11.6		(4.7)	鉄釉	鉄釉		た 049
2A-4	鉄	瀬戸		4.3	(10.6)	鉄釉			そ 050
2A-5	小刀	瀬戸系産	6.2	2.7	2.9	鉄釉	茎鉄部あり		た 048
2A-6	鉄	瀬戸・美濃	9.6	4.6	2.6	灰釉 (灰志野?)	底部底, 茎鉄部, 有鉄刷し		た 051
2A-7	鉄	瀬戸系産	10.6	6.0	2.35	灰釉	底 鉄 ヘラ痕		た 038
2A-8	鉄	瀬戸系産	10.4	5.4	2.35	灰釉		大型鉄	た 039
2A-9	鉄	中国 (唐時期)	(10.6)	8.1	(3.1)	染付			た 040
2A-10	縄系図	中国 (唐時期)	13.2	6.8	3.0	白磁			た 036
2A-11	煙管	銅製	(31.0)		(5.2)		煙管 2.5cm 吸口 口縁 1 沈線	雁	た 042
2A-12	太海系入	瀬戸系産	5.6	4.8	3.2	鉄釉	外口縁		た 043
2A-13	土師器皿	あり(内面に 墨書)	8.8		1.85	にぶい橙色	見 縦ナデ, 回しナデ, 口縁 ブ)剥石		た 047
2A-14	土師器皿	あり(1 2)	9.6		2.2	橙色	見 縦ナデ, 回しナデ, 口縁 ブ)剥石		た 069
2A-15	土師器皿	なし	9.6		2.55	にぶい橙色	見 回しナデ, 調整, 外 回しおナデ		た 068
2A-16	土師器皿	なし	(11.0)		(2.35)	浅黄橙色	見 回しナデ, 外 回しナデ		た 067
2A-17	土師器皿	あり	11.7		2.2	浅黄橙色	見 回しナデ, 調整, 外 回しおナデ		た 066

2B図 (FKJ02 3 B 5, C 5~6) 図150

図版	遺構	土師器 石石器 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
2B-1	土師器皿	なし	9.0		2.3	にぶい橙色	見 回しナデ指痕あ		そ 052
2B-2	土師器皿	あり	10.0		2.05	にぶい橙色	見 回しナデ, 外 回しおナデ		そ 053
2B-3	煙管	銅製	(33.6)	(15.0)	9.95		煙管 3cm 口径, 口縁 1 沈線		そ 054
2B-4	煙管	銅製	(39.0)		(9.9)		煙管 3cm 吸口, 口縁 1 8mm 沈線		そ 055
2B-5	煙管	銅製			(3.4)		煙管 1 3cm 吸口, 吸口 6 明文 山,		そ 056

3A図 (FKJ02 3 A 6, B 5~6 8) 図150

図版	遺構	土師器 石石器 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
3A-1	太田銅鉄	瀬戸系産	10.0		(4.1)	鉄釉		大型	そ 060
3A-2	太海系入	瀬戸系産 (藤前?)	4.9	5.9	8.05	鉄釉	鉄釉底部 明, 外底面部 粘土 ﾋﾞ		そ 046
3A-3	鉄	中国 (唐時期)		4.9	(2.7)	染付	見込 雑草		そ 058

3B図 (FKJ02 3 A~B 8)図150

図版	遺構	土師器 石石器 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
3B-1	鉄	瀬戸系産	8.35	4.5	1.9	灰釉	高台内に輪 ﾋﾟ痕あり		そ 057
3B-2	土師器皿	あり	9.0		2.05	にぶい橙色	見 回しナデ, 口縁 ブ)剥石		そ 059
3B-3	土師器皿	あり	5.0		2.15	にぶい橙色	見 回しナデ, 調整, 外 回しおナデ		そ 064

溝 (FKJ02 3 A 6, B 5~6)図150

図版	遺構	土師器 石石器 (あり/なし) 陶磁器 産地	法量 (cm) 口径	底径	高さ	土師器 胎土・色調 陶磁器 釉薬・色調	成形・調整・その他	備考	実測
溝 1	太田	中国 (唐代窯)	34.0	13.4	7.5	青磁	底部		そ 061
溝 2	鉄	中国 (唐代窯)	10.0	4.0	(2.0)	染付	見込み ヤ中心 ﾋﾟ上がる		そ 063
溝 3	鉄	瀬戸系産	10.6	5.8	2.45	灰釉	高台内輪 ﾋﾟ痕		そ 062
溝 4	土師器皿	あり	11.2		2.4	明橙色	見 回しナデ, 調整, 外 回しおナデ		そ 065
溝 5	土師器皿	あり	8.8		2.05	橙灰色	見 縦ナデ, 回しナデ, 口縁 ブ)剥石		そ 070
溝 6	土師器皿	あり	9.0		1.8	にぶい橙色	見 縦ナデ, 回しナデ, 口縁 ブ)剥石		そ 071
溝 7	土師器皿	あり	8.2		2.0	にぶい橙色	見 縦ナデ, 回しナデ, 口縁 ブ)剥石		そ 072
溝 8	小型	銅鏡	6.3	8.3	9.7				そ 045

木製品

漆塗椀（第 151図1～第 155図 57）　総数 90点出土している。本報告には 57点を掲載。器高と口径の比率から 6 分類される。1 ～ 16は高台部、器高とも高く、飯椀に相当する。器高は 8 ～ 10cm 口径は 15cm前後～ 18cm 口径によりさらに 2 分類され、 12～ 14・ 16は口径が 16～ 18cmあり特に大振りのもの。他は口径 15cm前後。高台裏に刻文や文字を持つものが多い。 17～ 48は、飯椀より高台部、器高とも低く、汁椀に相当すると考えられるもの。器高は 3 5～ 7cm 口径は 12～ 15cm 器高と口径の比率から 3 分類される。 17～ 29・ 35・ 36は器高 6 ～ 7 cm 口径 14～ 15cm 口径は飯椀とあまりかわらないが、高台部が低い。 30～ 32・ 34・ 37・ 39は器高 4 5～ 5 5cm 口径 13～ 14cm前後。 33・ 40～ 48は器高 3 5cm前後、口径 12～ 13cm 43・ 46～ 48は内外共赤色で、 48は端反。 43は近世にも降るものかとも考えられる。 49～ 57は器高が低く皿に相当する。器高は 3 cm前後、口径は 8 ～ 10cm前後。

椀・皿類のみで、平椀・壷椀などは無い。上塗りは、内外とも黒が 6割ほどで、外面黒内面赤が 3 割ほど。漆絵は全体の 8 割ほどで確認でき、内外ともに描かれるものが 4 割ほど、外面のみが 3割ほど、内面のみが 2 割ほど。家紋風の丸文は 1 割ほどである。漆絵の種類は、鶴・亀・松・柑橘類などを描く蓬莱文が 3割ほど、扇や宝珠などの吉祥物を描く器物文が 3 割ほど、植物文が 2 割ほどである。文様の展開では、内面では中央に 1 箇所、周囲に 3 箇所というのが多い。

柄杓（第 156図 58）　底板は欠落。径約 15cm 柄は長さ約 63cm 幅 3 cm 厚さ 1 cm

釣瓶（第 156図 59）　平面形が台形の側板。釘が打ち込まれている。近世のものより若干小振り。

鍬身・鍬柄（第 156図 60・ 61）　柄穴は方形で、着柄角度は約 60 。

切匙・箆（第 156図 62～ 64）　62・ 64は切匙で、長さは 19 6と 37 5cm 63は箆で、板を弧状に切って柄とし、先端は細く尖らせる。身は直線的。蒲鉾板かとも考えられる。

加工木（第 156図 65・第 159図 93・ 94・ 97）　65は断面長方形の棒の 1 側面に約 1 cm間隔に穴を開ける。 93は長方形の板に径 3 cmほどの穴を開け、先端を細くする。 94は先端が尖る棒。 97は平面楕円形で側面が斜めの厚さ 4 cm程のもので、上下の接地面のみ平で中央に径 4 cm程の穴が開く。

箸（第 156図 67～ 74）　24点を資料化し、 8 点を掲載した。 67は一方の端のみを細く削る片口箸。 68は端を削り込まず同じ太さの寸胴箸。 69～ 74は両端とも削られる両口箸。片口箸と寸胴箸が 1 点ずつあり、残りはすべて両口箸である。長さは約 19～ 28cmまである。

容器（第 157図 75～ 79・ 81～ 87・第 158図 88～ 90）　82・ 86は柄杓。 82は径約 11cm 86は 7 cm 83は径約 19cm 75は取手の痕跡があり蓋板。 76～ 79・ 81・ 84～ 90は底板。径 16～ 20cmで 5割ほど。 88は大槌の蓋。

折敷（第 157図 80）　長さ約 22cm 2 個 1組の穴が四方にある。

木簡（第 159図 91）　側面に切り込みなどはない。厚さ 0 4cm

楊枝（第 159図 92）　頭部を斜めに切り落とし、先端に向かって細くなる。

糸巻（第 159図 95・ 96）　96を十字に 2 段に組み、回りに 95を 4 本立てて糸巻となる。

舟形（第 159図 98）　縁を持つ精巧な作り。船尾に穴がある。

下駄（第 159図 99～ 108）　一木の連歯下駄が 5 点、無歯の雪下駄が 4 点、差歯の露卯下駄が 1 点、である。 100・ 108には台表に「 」印があり、さらに 108には花弁と格子目文様が焼印される。これらは、悪霊除けの呪符だと考えられる。 102・ 103は釘で補修される。 104は長さ 10 3cmで子供用。

（本多）

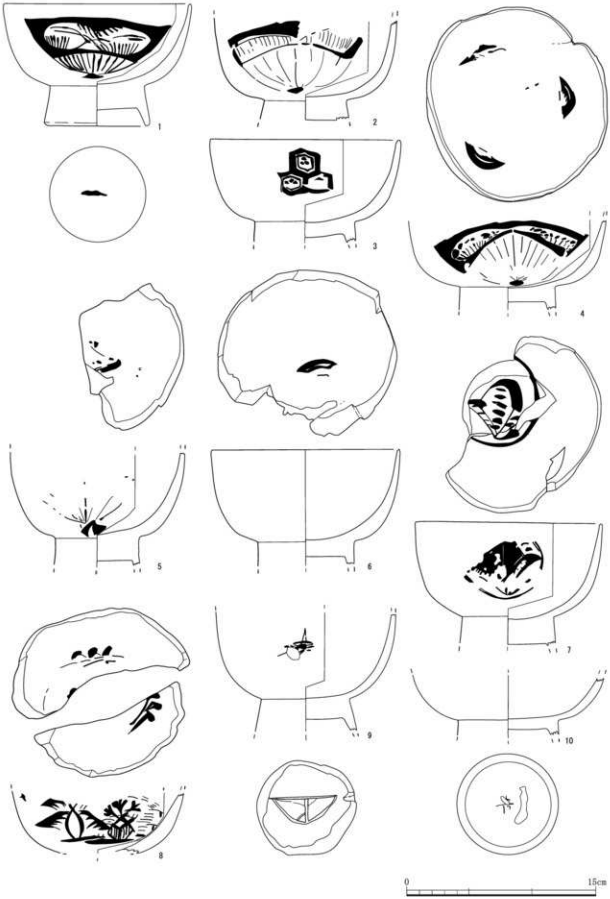


図151　漆器①（S＝1/3）

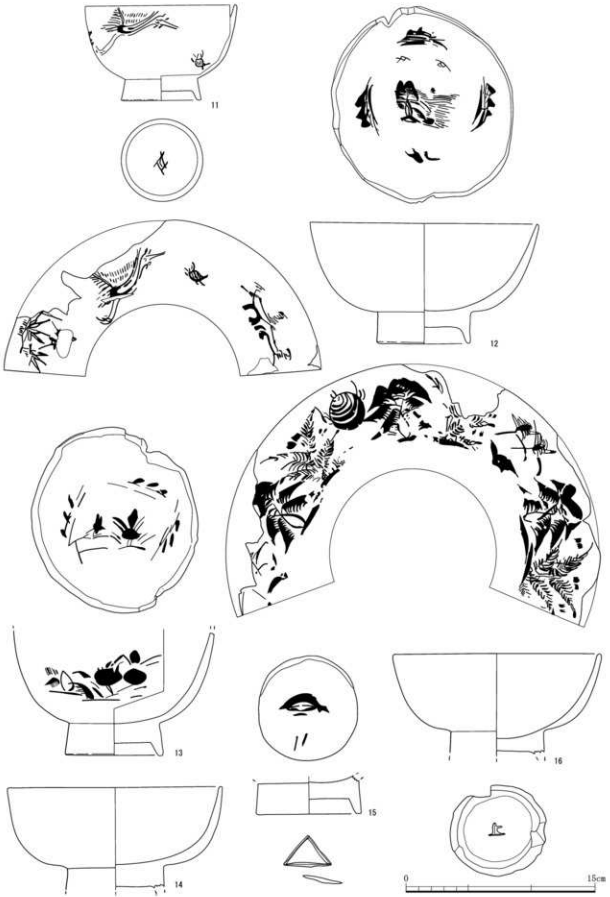


図152　漆器②（S＝1/3）

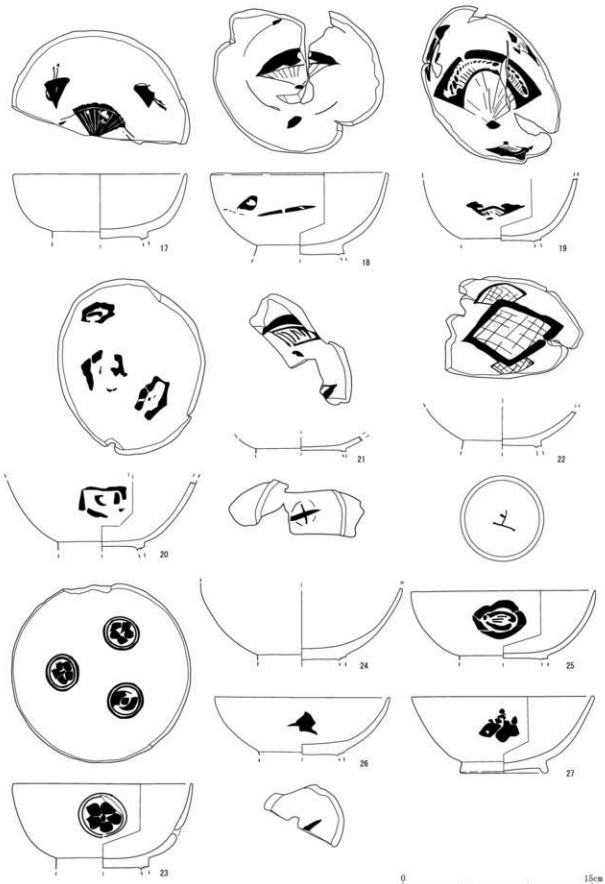


図153　漆器③（S＝1／3）

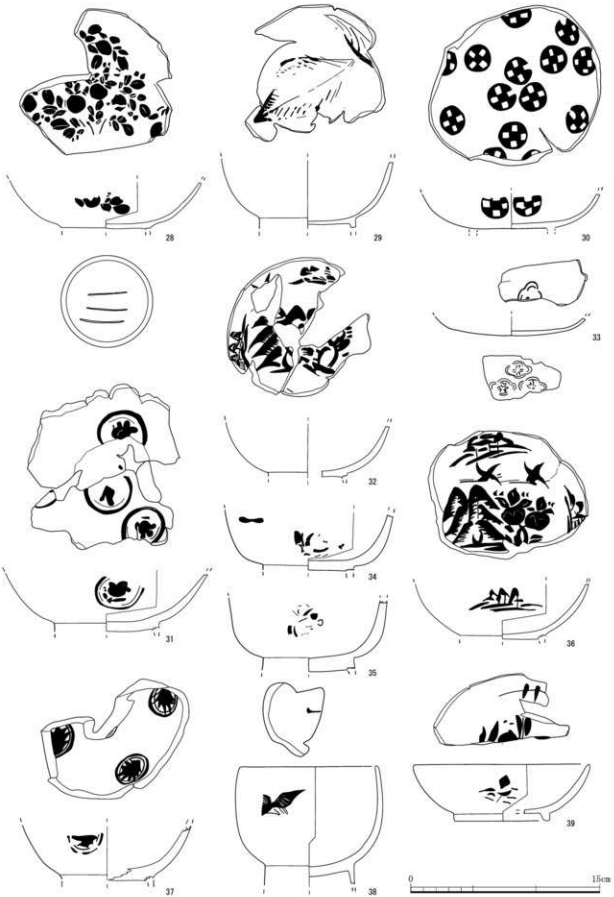


図154　漆器④（S＝1/3）

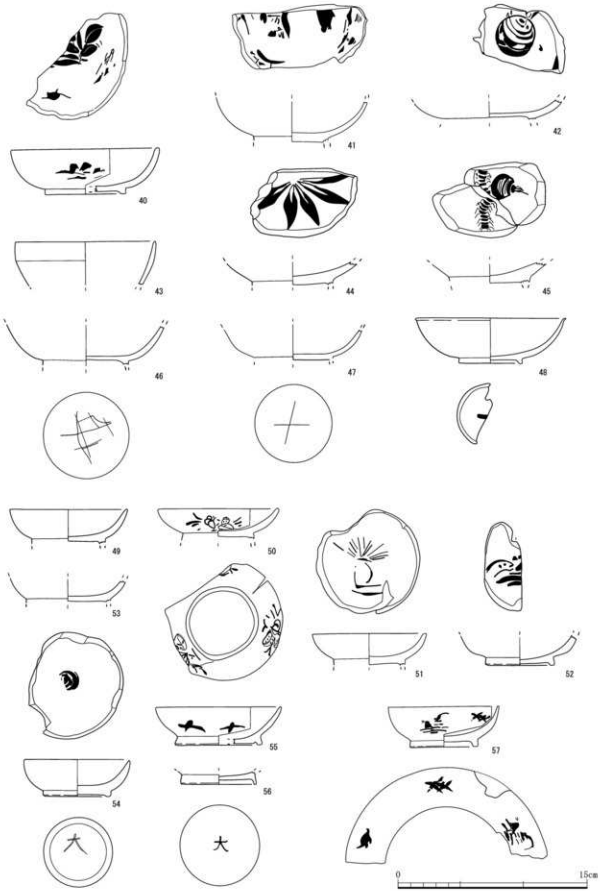


図155　漆器⑤（S＝1/3）

表 21 漆器觀察表

照片編號	器號	遺構名稱	時期	器種	上		器			底			高台		器蓋		器蓋 (2M)			
					內面	外面	紋飾						紋飾		紋飾		口徑	器高	高台寬	高台高
							位置	色	種類	(圖號)	紋	印	色	種類						
151 1	54	10 陶金屬	1稻紀	飯碗	赤	黑	外 高台黑	內~2 外~2	赤	內~輪轆紋			赤	內~,			14.9	9.6	8.4	3.1
151 2	54	10 陶金屬	1稻紀	飯碗	赤	黑	外	2	赤	輪轆紋							(14.4)	(8.8)	(7.0)	(1.5)
151 3	55	9 128	1稻紀第一期	飯碗	赤	黑	外	1	赤	三?線(為中心三?線)							15.0	(8.3)	(8.0)	(1.7)
151 4	56	10 1286	1稻紀第一期	飯碗	黑	黑	內外	內~中1,周2 外~2	赤	輪轆紋							(15.4)	(7.2)	(7.4)	(1.8)
151 5	56	2 217	1稻紀第一期	飯碗	黑	黑	內, 外	內~中1 外~2	赤	輪轆紋							(13.8)	(9.0)	(6.8)	(2.3)
151 6		10 陶金屬	1稻紀	飯碗	黑	黑	內外	內~中1	赤	輪轆紋							14.9	(9.1)	(7.6)	(1.9)
151 7	54	10 1009	1稻紀第一期	飯碗	黑	黑	內外	內~中1 外~2	赤	內~蓮瓣狀紋 外~, 印(線色)			內~, 線				14.8	(9.7)	(7.6)	(2.4)
151 8	4	9 229	1稻紀	飯碗	黑	黑	內外	內~中1,周2 外~金屬	赤	蓮瓣文(相, 井??, 橫線)							(13.6)	(5.3)	—	—
151 9	54	10 1009	1稻紀第一期	飯碗	赤	黑	內	內~7線	赤	竹鳥?, 蓮瓣文		有					(14.2)	(9.4)	(8.0)	(2.4)
151 10	56	2 229	1稻紀第一期	飯碗	赤	黑	高台黑		赤				赤	「線?」			(15.0)	(4.8)	(8.0)	(1.5)
152 11	54	3 118	1稻紀第一期	飯碗	黑	黑	外	內~金屬	赤	蓮瓣文(相, 龜, 鳥, 竹)			赤	「鳥文?印等?」			12.0	7.5	6.4	2.2
152 12	56	9 222	1稻紀第一期	飯碗	黑	黑	內外	內~中1,周2 外~金屬	赤	蓮瓣文(相, 竹葉, 交線, 鳥, 龜)							18.2	9.4	7.4	2.5
152 13	54	9 86	1稻紀第一期	飯碗	黑	黑	外	2	赤	輪轆紋							17.0	(8.1)	(7.6)	(1.6)
152 14	56	10 1009	1稻紀第一期	飯碗	黑	黑	內, 外	1	赤	輪轆紋				「??線」?			(8.7)	(2.5)	8.5	2.4
152 15		9 76	1稻紀第一期	飯碗	赤	黑	內外	內~3	赤	輪轆紋?印(線色)			有	「2」			16.6	(7.8)	(7.5)	(1.9)
152 16	55	2 291	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內, 外	內~中1,周37	赤	蓮瓣, 竹(線色)							14.0	(5.4)	(7.6)	(0.6)
152 17	55	10 1009	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內外	內~中1,周27 外~7	赤	輪轆紋							14.0	(6.5)	(7.4)	(0.9)
152 18	55	10 1340	1稻紀	汴碗	黑	黑	內外	內~中1,周37 外~37	赤	輪轆紋							(12.4)	(5.0)	(6.4)	(0.3)
152 19	55	2 217	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內, 外	內~中1,周37 外~37	赤	龜甲文?		有					(15.2)	(5.5)	(6.9)	(0.8)
152 20	55	2 217	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內	37	赤	輪轆紋		有					(15.0)	(1.1)	(7.2)	(0.4)
152 21	56	4 相石敷蓋上	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內	內~7線?	赤	輪轆紋?		有					(12.0)	(3.2)	(6.4)	(0.7)
152 22	55	4 1034	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內外	內~周3 外~3	赤	輪轆紋?							14.4	(0.7)	(7.4)	(1.0)
152 23	55	9 86	1稻紀第一期	汴碗	赤	黑	外	3	赤	3							(15.0)	(3.8)	(7.0)	(0.5)
152 24	55	9 130	1稻紀	汴碗	赤	黑	外	3	赤	太五							14.5	(5.5)	(7.0)	(1.0)
152 25		9 128	1稻紀	汴碗	赤	黑	外 高台黑		赤	?			赤	?			14.0	(4.4)	(6.8)	(0.4)
152 26	55	2 陶金屬	1稻紀	汴碗	黑	黑	外	37	赤	線?							14.8	6.8	7.1	0.9
152 27	55	10 1199	1稻紀	汴碗	黑	黑	內外	內~陶金屬 外~7	赤	印線條?印(線色)		印印?					(15.2)	(4.8)	(7.1)	(0.2)
152 28	55	2 297	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內	中1,周37	赤	輪轆(圓)							(13.6)	(5.5)	(7.7)	(0.9)
152 29	55	2 297	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內, 外	內~中1,周37 外~37	赤	鐵?							(14.0)	(2.9)	(6.8)	—
152 30	55	9 23	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內外	內~中1,周37 外~3	赤	線							(16.0)	(4.6)	(8.2)	(0.7)
152 31		10 陶金屬	1稻紀	汴碗	黑	黑	內, 外	內~中1,周3	赤	蓮瓣文(相, 輪線, 鐵?)							(13.0)	(4.3)	(6.2)	(0.5)
152 32	55	2 917A	1稻紀第一期	汴碗	赤	赤	內外		內 赤	赤	三?線?木五?						(12.0)	(1.5)	—	—
152 33	55	10 陶金屬	1稻紀	汴碗	黑	黑	內外	內~中1,周27 外~7	赤	木五							(14.2)	(4.5)	(7.2)	(0.4)
152 34	55	9 146	1稻紀第一期	汴碗	赤	黑	外 高台黑		赤	「~」			赤	「~」			(12.4)	(5.7)	(7.4)	(1.1)
152 35	55	2 217	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內, 外	內~中1,周37 外~3	赤	蓮瓣文(相, 輪線, 龜, 鳥) 印(線色)							(13.8)	(4.4)	(6.8)	(0.3)
152 36	55	2 陶金屬	1稻紀	汴碗	黑	黑	內外	內~27 外~中1,周3	赤	輪轆							(13.6)	(4.5)	(7.2)	(0.5)
152 37	55	9 222	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	外	1	赤	印線色							11.0	(5.4)	(7.2)	(1.7)
152 38	55	4 陶金屬	1稻紀	汴碗	黑	黑	內外		赤	蓮瓣文(輪轆, 龜)							(12.8)	(2.8)	7.6	0.6
152 39	55	2 陶金屬	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內外	內~中1,周37 外~7	赤	蓮瓣文(相, 輪線, 龜, 鳥) 印(線色)							(11.8)	(3.5)	(6.4)	0.5
152 40	55	2 陶金屬	1稻紀	汴碗	黑	黑	內	內~中1,周37	赤	蓮瓣文(線?, 龜, 竹)							(12.0)	(3.5)	(6.8)	(0.5)
152 41	55	9 129	1稻紀第一期	汴碗	赤	黑	外	1	赤	蓮瓣							(13.0)	(1.7)	(7.5)	(0.3)
152 42		2 陶金屬	1稻紀	汴碗	赤	赤	無										11.2	(2.5)		
152 43	55	2 陶金屬	1稻紀第一期	汴碗	黑	黑	內	線?	赤	蓮瓣文(相)							(10.4)	(1.5)	(6.4)	(0.4)
152 44	55	9 130	1稻紀	汴碗	黑	黑	內		赤	蓮瓣, 龜等							(9.2)	(1.0)	(6.2)	(0.5)
152 45		4 陶金屬	1稻紀	汴碗	赤	赤	無					有?					(12.4)	(3.4)	(6.8)	(0.5)
152 47	55	2 297	1稻紀第一期	汴碗	赤	赤	無							「」			(11.0)	(2.5)	(6.2)	(0.4)
152 48		10 1017	1稻紀第一期	汴碗	赤	赤	高台黑			赤			黑	「~」			12.6	7.5	5.0	0.5
152 49		4 陶金屬	1稻紀	盌	黑	黑	內	1		赤							9.4	(2.6)	(5.6)	(0.5)
152 50	55	3 10	1稻紀第一期	盌	赤	赤	外	23	赤	線?							9.6	2.5	(5.8)	(0.7)
152 51	55	2 陶金屬	1稻紀	盌	黑	黑	內	線?	赤	蓮瓣文(相)							9.0	(2.5)	(5.6)	(0.5)
152 52	55	2 217	1稻紀第一期	盌	黑	黑	內	線?	赤	蓮瓣文(相)		有					(9.0)	(2.5)	5.6	0.6
152 53		2 297	1稻紀第一期	盌	黑	黑	內	1	赤	輪轆?		有					(8.6)	(2.8)	(6.6)	(0.4)
152 54	55	4 597	1稻紀第一期	盌	黑	黑	內	中~1	赤	1		有?					9.4	2.8	5.4	0.5
152 55		3 陶金屬	1稻紀	盌	赤	黑	內	1	赤	3							10.8	3.1	7.0	0.7
152 56	55	2 217	1稻紀第一期	盌	黑	黑	內					有?					(8.4)	(1.0)	6.1	0.8
152 57	55	9 215	1稻紀第一期	盌	赤	黑	外	3	赤	蓮瓣文(線等, 龜, 鳥)							8.8	3.2	5.4	0.5

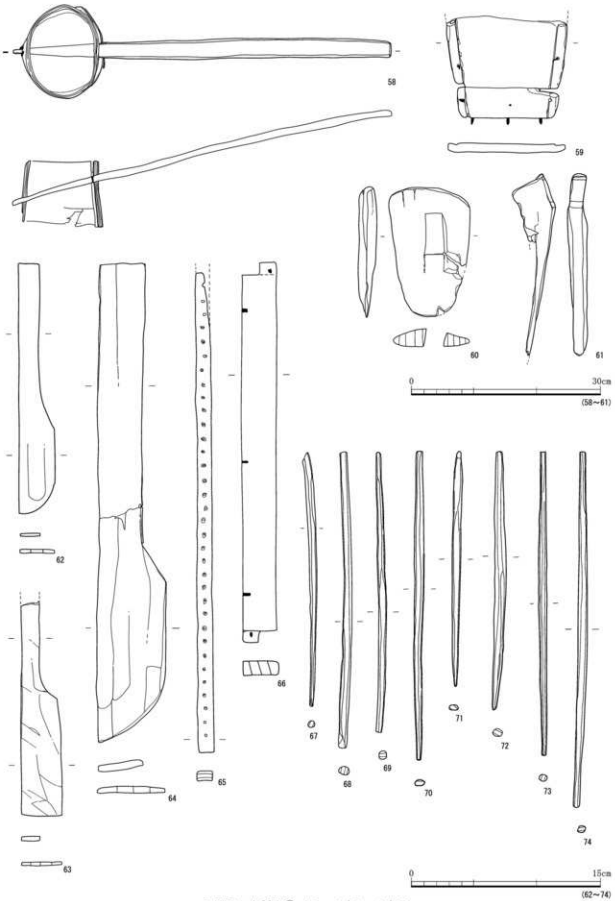


図156　木製品①（S＝1/3・1/6）

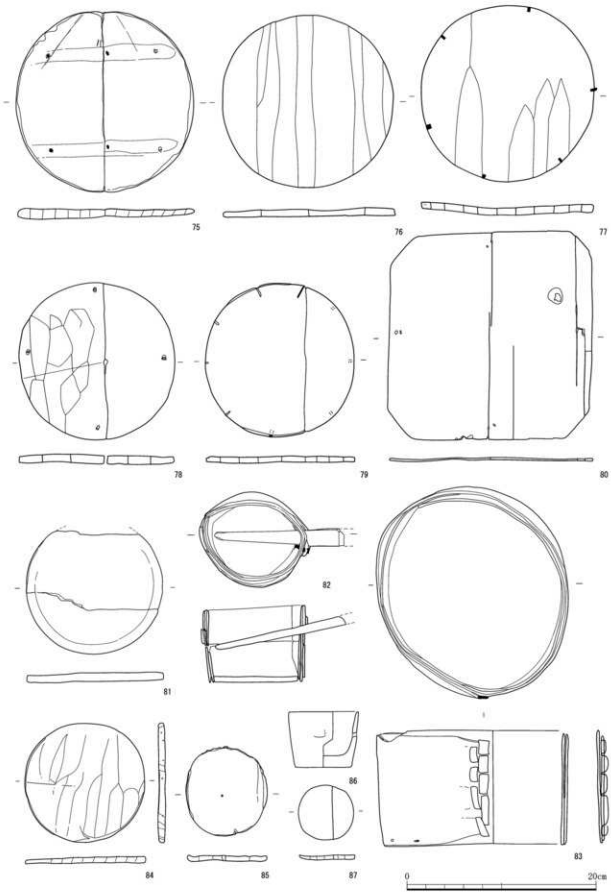


図157　木製品②（S＝1/4）

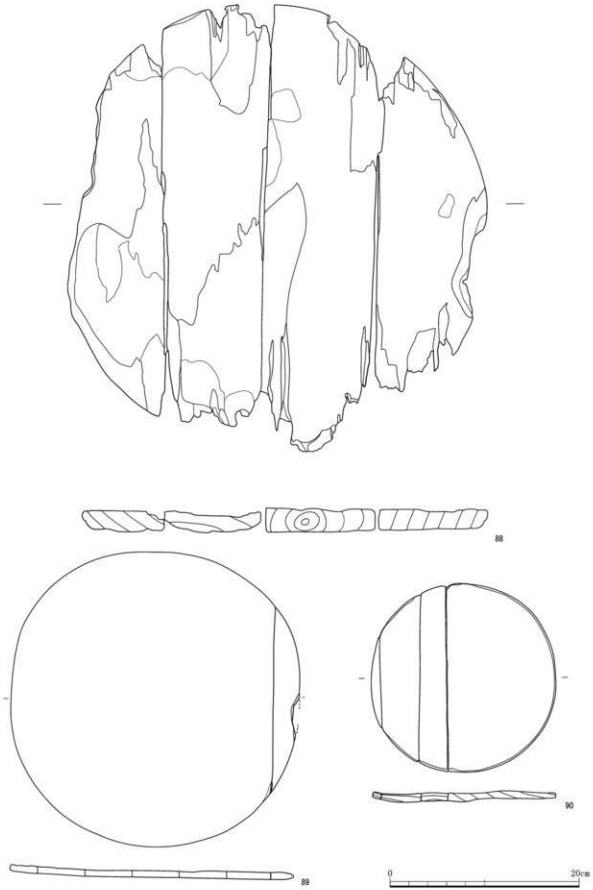


図158　木製品③（S＝1/4）

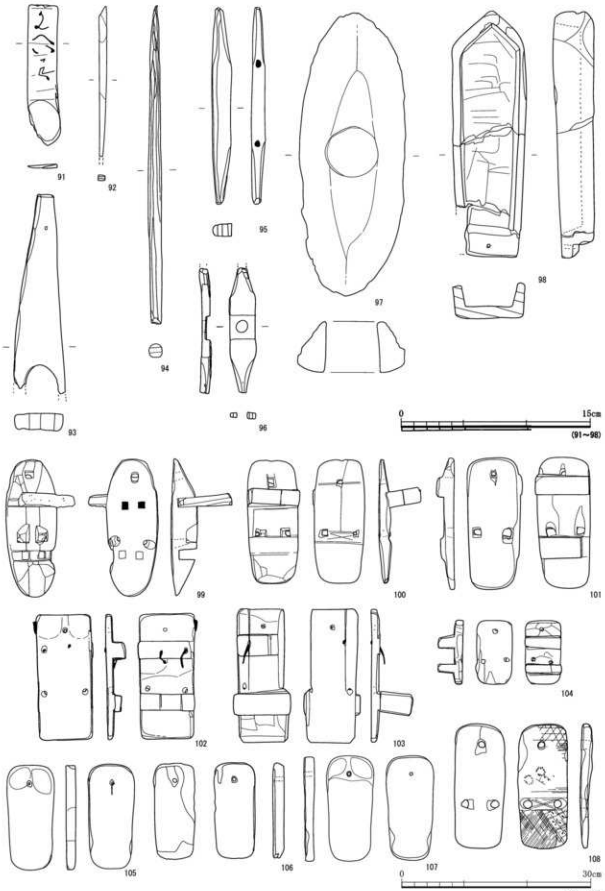


図159　木製品④・下駄（S＝1/3・1/6）

表22　木製品観察表

挿図番号	遺構番号	時期	種類	法量(cm)			備考
				長	巾	厚	
156-58	9-15	16世紀中～末	柄杓	15.0	－	1.0	底板は欠損、柄の長さは62.5cm
156-59	9-14	16世紀中～後	釣板	(16.3)	(18.6)	1.4	側板、釘7ヶ所残存
156-60	9-135	16世紀中	鍬	20.7	13.0	2.8	身部
156-61	9-135	16世紀中	鍬	29.0	6.2	3.0	柄部、一部欠損
156-62	10-1009	16世紀後～末	切匙	19.6	2.8	0.3	
156-63	10-1009	16世紀後～末	切匙	(17.0)	3.2	0.4	
156-64	10-1009	16世紀後～末	切匙	37.5	6.4	0.6	
156-65	10-1009	16世紀後～末	部材	(37.7)	1.3	0.7	0～0.5cm穿孔33ヶ所
156-66	10-1009	16世紀後～末	部材	29.9	2.8	1.1	
156-67	4-802	16世紀中	箸(片口箸)	20.0	0.7	0.7	
156-68	10-1009	16世紀後～末	箸(寸胴箸)	23.3	0.8	0.7	
156-69	9-94	16世紀中～後	箸(両口箸)	22.0	0.6	0.6	
156-70	9-28	16世紀中～後	箸(両口箸)	24.3	0.7	0.6	
156-71	4-802	16世紀中	箸(両口箸)	18.5	0.7	0.4	
156-72	9-222	16世紀中～後	箸(両口箸)	20.3	0.9	0.6	
156-73	10-1009	16世紀後～末	箸(両口箸)	23.9	0.7	0.6	
156-74	10-1009	16世紀後～末	箸(両口箸)	27.9	0.7	0.6	
157-75	9-131	16世紀中～後	蓋板	18.8	－	1.0	木釘4ヶ所残存
157-76	9-257	16世紀中～後	底板	18.2	－	0.8	
157-77	9-94	16世紀中～後	底板	18.2	－	0.8	
157-78	9-135	16世紀中	底板	16.5	－	1.0	中央に1ヶ所、側面に4ヶ所穴
157-79	9-130	16世紀	底板	16.2	－	0.6	側板の一部残存
157-80	9-130	16世紀	折敷	21.9	21.4	0.3	側板の一部残存
157-81	10-1057	16世紀後～末	底板	14.4	－	0.9	
157-82	4-802	16世紀中	柄杓	8.1	11.3	0.6	
157-83	4-886	16世紀中～後	曲物	12.2	19.0	－	底板欠損
157-84	9-15	16世紀中～末	底板	12.7	－	0.7	
157-85	10-1009	16世紀後～末	底板	9.4	－	0.6	
157-86	10-1057	16世紀後～末	柄杓	7.2	5.7	－	
157-87	9-168	16世紀中	底板	5.7	－	0.5	
158-88	9-221	16世紀中～後	底板	(4.7)	－	2.5	
158-89	10-1286	16世紀前～中	底板	31.1	－	0.8	
158-90	9-166	16世紀中～後	底板	20.0	－	0.9	
159-91	10-1133	16世紀中～末	木鎚	11.0	2.4	0.3	
159-92	10-1009	16世紀後～末	櫛状	(11.9)	0.6	0.4	
159-93	9-15	16世紀中～末	加工木	(15.6)	4.1	1.4	
159-94	9-17	16世紀中～後	加工木	25.0	1.1	1.1	
159-95	9-130	中世	糸巻	15.5	1.5	1.1	
159-96	9-130	中世	糸巻	(9.8)	2.0	0.7	
159-97	4-石廻Ⅰ表込	16世紀後～末	加工木	22.2	8.3	4.0	炭化激しい。中央部に直径4.0cm穴
159-98	12-溝	16世紀中	舟形	19.4	5.8	3.2	

表23　下駄観察表

挿図番号	遺構番号	時期	種類	法量(cm)					備考
				長さ	巾	台巾	台厚	全高	
159-99	9-33	16世紀前～末	露卸下駄	21.9	11.2	8.4	4.2	9.7	前歯の一部と後歯欠損、歯裏に細礫付着
159-100	9-包含層	16世紀	連歯下駄	19.8	8.4	8.1	1.7	6.7	後歯欠損、台表に「×」印
159-101	9-129	16世紀中～後	連歯下駄	20.9	8.9	8.6	1.8	2.8	
159-102	10-1009	16世紀後～末	連歯下駄	20.1	9.1	8.9	1.1	3.2	前後の歯一部欠損、後歯補修
159-103	10-1009	16世紀後～末	連歯下駄	21.4	9.1	7.6	1.2	6.8	前歯の台の一部欠損、前歯に釘
159-104	4-包含層	16世紀	連歯下駄	10.3	8.9	5.7	1.5	4.0	後歯半分ほど炭化
159-105	9-包含層	16世紀	雪下駄	16.6	7.5	－	1.6	－	
159-106	4-包含層	16世紀	雪下駄	15.2	6.5	－	1.8	－	
159-107	9-14	16世紀中～後	雪下駄	16.7	7.4	－	1.2	－	
159-108	9-76	16世紀中～後	無歯下駄	19.8	8.1	－	1.9	－	台表に焼印・格子目文、台裏に黒漆少量残存

石製品

中世の遺構・包含層から出土した石製品のうち、状態が良好で呈示し得たのは 119点である。以下、これらの石製品を、日用品・その他、石造塔、石瓦に分ける。なお、地下駐車場建設工事の際、平面的には未調査となった百間堀部分から、五輪塔水輪 1 点が出土した。川砂中に埋もれていたということから、吉野川の底に堆積した遺物として捉えられるため、ここで扱う (図 169 9)。

日用品・その他

鉢・盤 (図 160 1 ・図 164 1 ～ 3 ・ 5 ・図 168 1 ・ 2)　図 160 1 ・図 168 1 は鉢である。図 168 1 の外面には縦方向の丁寧な鑿調整が施される。内面には火鉢として利用した痕跡が残る。

石臼 (図 160 2 ～ 4 ・図 161・図 168 3)　図 160 2 ～ 4 ・図 161 1 ～ 8 は石臼である。石臼は上下の臼を重ね、上臼を回転させ穀物などを粉に挽く道具である。図 160 2 ～ 4 ・図 168 3 は粉挽き臼 (いわゆる石臼) の上臼である。臼面に刻まれる溝の間隔は粗く、一単位の本数は 6 本である。

図 161 1 ～ 8 は茶葉を抹茶にする茶臼である。図 161 1 は茶臼の上臼である。側面に挽手を入れる穴があり、その周囲の形状は子持ち菱である。通常の石臼 (粉挽き臼) に比べ溝の間隔は密で細く、一単位の本数は 8 ～ 10本である。図 161 2 ～ 8 は茶臼の下臼である。臼面の周囲に、粉を受けるため丸膳状の皿が削り出される。

パンドコ・火鉢など (図 162・図 163・図 164 4 ・図 168 4)　図 162・図 168 4 は、パンドコの蓋で、平面形は半楕円形のもの (図 168 1 ～ 4 ・ 6)、楕円形のもの (図 168 5 ・図 168 4) がある。図 163 は、パンドコの本体である。図 163 1 ・ 2 は蓋を持たない型である。それぞれの平面形は、 1 ・ 2 が方形もしくは台形、 3 ・ 5 は半楕円形、 6 ～ 8 は楕円形と見られる。 3 ・ 5 ～ 8 は窓を持つ。図 163 4 は火鉢である。一部分の破片であるが、平面形は隅丸 長 方形で、各隅に脚が付くものと見られる。外面には縦方向の丁寧な鑿調整が施される。内面と口縁端部は滑らかに仕上げられる。図 164 4 は風炉の底部である。 2 つの脚が残る。

硯 (図 165・図 166 1 ～ 3)　図 165 12・ 13・図 166 1 ・ 2 を除き長方形の硯である。図 165 14・ 15・図 166 3 は裏面に双脚を持つ。図 165 14の裏面には「長州赤間関　藤原金澄」の線刻が認められる。図 166 1 は自然礫を方形に粗成形のまま利用し、表面に硯面を作り使用している。淡黄灰色の石材であるため、使用による墨痕が目立つ。図 166 2 は硯面の側縁部に装飾が見られる。

砥石 (図 166 4 ～ 7 ・図 167 1 ～ 5 ・図 168 5 ・ 6)　図 167 1 ・ 3 は中央部の凹みが強く、かなり使用していたと思われる。いずれも中砥もしくは仕上げ砥と思われる。

その他 (図 167 6 ～ 8)　6 は笏谷石製の鋳型であり、小柄を鋳造したものと見られる。外面は鑿による粗成形である。 7 は、小形ではあるが、重石などに使用されたものと見られる。 8 は薬研である。

石 造 塔 (図 169・図 170)

五輪塔 (図 169・図 170 1 ～ 5)　五輪塔には、一石五輪塔と、空輪と風輪が一体となった空風輪・火輪・水輪・地輪の 4 つの部位からなる組み合わせ五輪塔がある。

図 169 1 ～ 5 は空風輪である。 4 ・ 5 は空輪部分を欠く。 1 には梵字の「キャ」「カ」が認められる。

図 169 7 ・ 8 は火輪である。 7 はごく一部を残すのみであり、 8 は完形である。空風輪を組み合わせるための臍穴は、ともに隅丸方形である。

図 169 6・9～11は水輪で、球形または楕円球形の上下端を切り取った形をしている。6は、ごく一部を残すのみである。完形である9の月輪は、陽刻された圏線の周囲に小花弁状紋様が全周し、反花座が備わる。月輪には梵字の「ア」が刻まれる。10・11の月輪は、素紋で面的に陽刻されたものであり、11の月輪の下部には、残存状態が良くないが、反花座が認められる。ともに梵字の「バ」が刻まれる。なお、9・11に認められる反花座の形状は、14世紀以降の所産であることを示す。

図 169 12～14・図 170 1～5は地輪である。地輪は形状から他に比べ転用されることが多かったと想われる。図 169 12には梵字の「ア」が刻まれる。図 170 3～5は一石五輪塔のものと見られるが、これらには線刻による文字が書かれている。3には、梵字の「ア」と、「壽洞青波禅定門」(戒名)、「永禄七甲子年五月十五日」(1564年の命日)が確認される。4は、石垣　の裏込中から検出されたものである。「永禄五壬戌五月」(1562年)と確認される。5は、板石敷通路下層の造成土中から検出されたものである。「永禄八年」(1565年)と確認される。いずれも朝倉氏が栄華を誇った時期に建てられた一石五輪塔である。

宝篋印塔(図 170 6～9)　6・7は相輪、8は笠部、9は基礎である。いずれも宝篋印塔として扱うが、8の笠部以外については確証がない。

6は、水煙・九輪上半部を欠くが、請花・伏鉢部分は良好に残存する。7は大型であるが、伏鉢の部分が辛うじて残存するのみである。6・7の伏鉢は、ともに無文であることから、鎌倉時代後期～室町時代後期の間(文禄期以前)に製作されたものと見られる。

8の笠部は、一体成形で、笠部上部段形は7段、下部段形は2段である。隅飾りは、装飾がなく、やや外側に直線的に傾く。上部に隅丸方形の臍穴を持つ。下面には軸受け孔を持たない。

9の基礎は、2段の直角段座であり、上面の塔身の載る部分に四角い軸受け孔を持つ。これは、石垣の裏込栗石中から出土したもので、底面には切断しようとしたかのような痕跡が認められる。

石　瓦(図 168 7・8・図 171～174)

鬼瓦(図 171 1・2)　1は、鬼瓦の鳥衾部分である。鳥衾には三つ巴文があり、黒漆が塗られる。一体成形の鬼瓦である。鳥衾の基部の左右にも線刻の一端が認められ、黒漆が付着する。2は、鬼面の口の周囲で、赤漆で彩色された痕跡が認められる。ハリカワには渦文が線刻されており、その渦文には黒漆が見られる。2点とも笏谷石製である。それぞれの図の横に、復元案をあわせて提示した。1の正面中央部は無紋の可能性もあるが、何らかの紋が陽刻などにより造り出されていたことも考えられる。

軒丸瓦(図 168 8・図 172 1～5)　いずれも三ツ巴紋の文様があり、図 172 1～4の三ツ巴紋には黒漆が塗られる。いずれも笏谷石製である。なお、図 172 1・2は向って左側に平瓦が接続する形状の桟瓦である。

棟瓦(図 168 7・図 171 3・5～7・図 172 6～8・図 173 1～3)　図 168 7・図 171 3は、塀に使われた瓦と思われる。棟瓦は、規模・形態が様々であり、建物や使用される部位の異なるものと見られる。いずれも笏谷石である。

丸瓦(図 173 4～7・図 174 1～7)　図 174 4には方形の孔が2箇所に確認される。いずれも笏谷石製である。

軒平瓦・平瓦(図 174 8・9)　8は平瓦、9は軒平瓦である。いずれも笏谷石製である。

(青木)

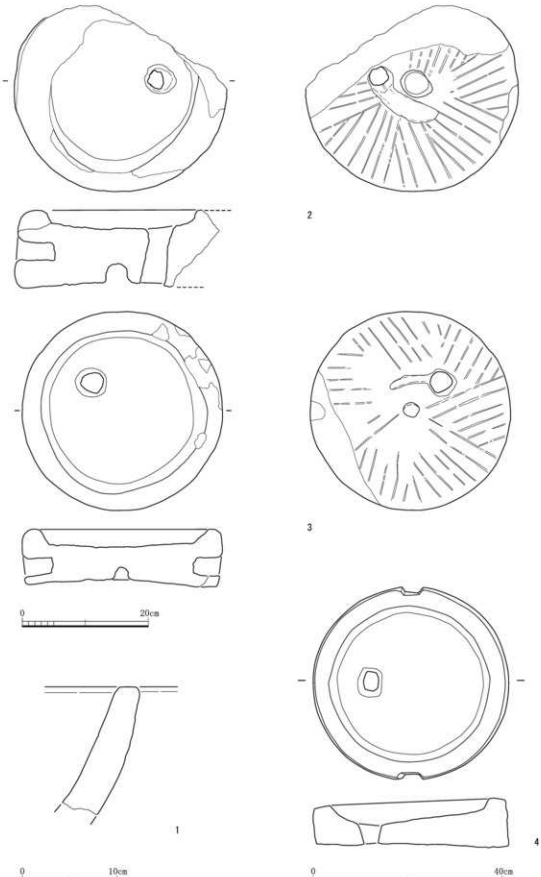


図160　石製品①（S＝1/4：1，S＝1/6：2･3，S＝1/8：4）

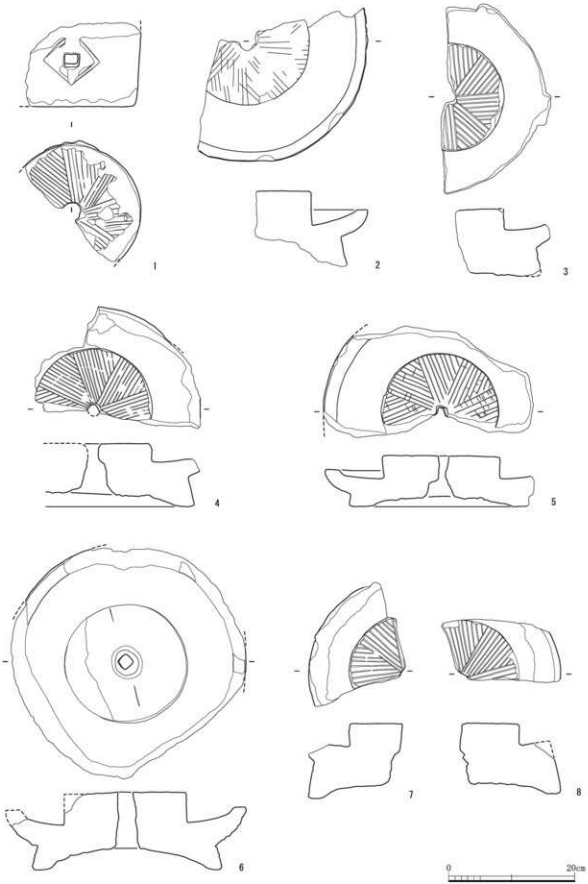


図161　石製品②（S＝1/6）

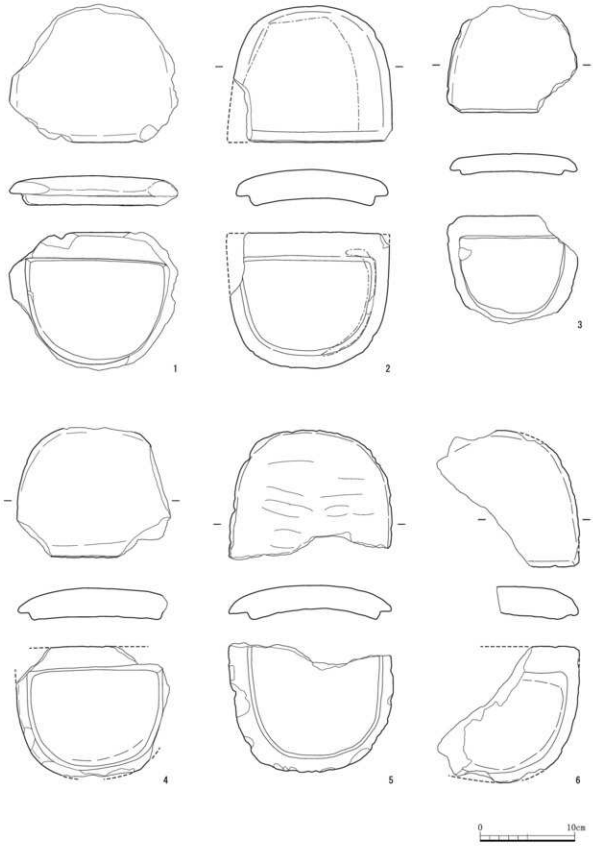


図162　石製品③（S＝1/4）

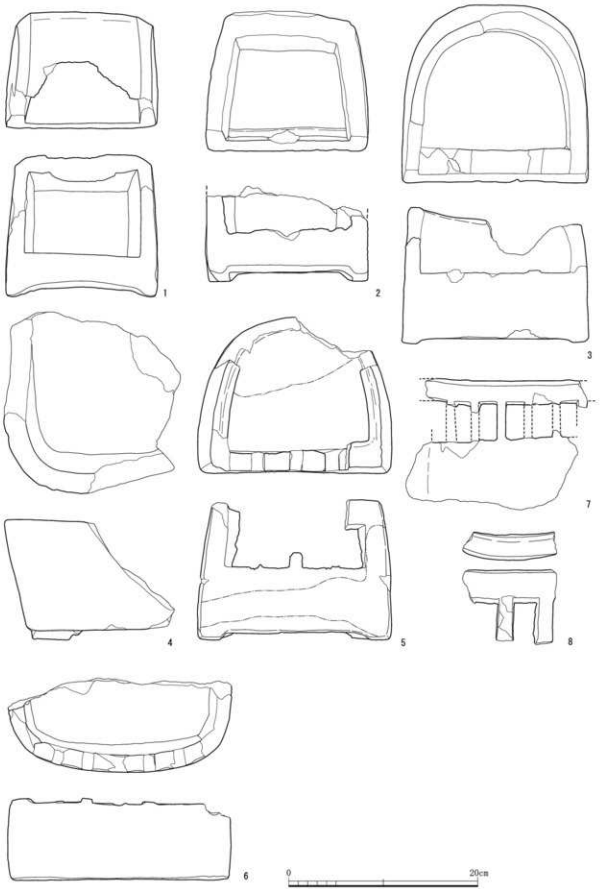


図163　石製品④（S＝1/4）

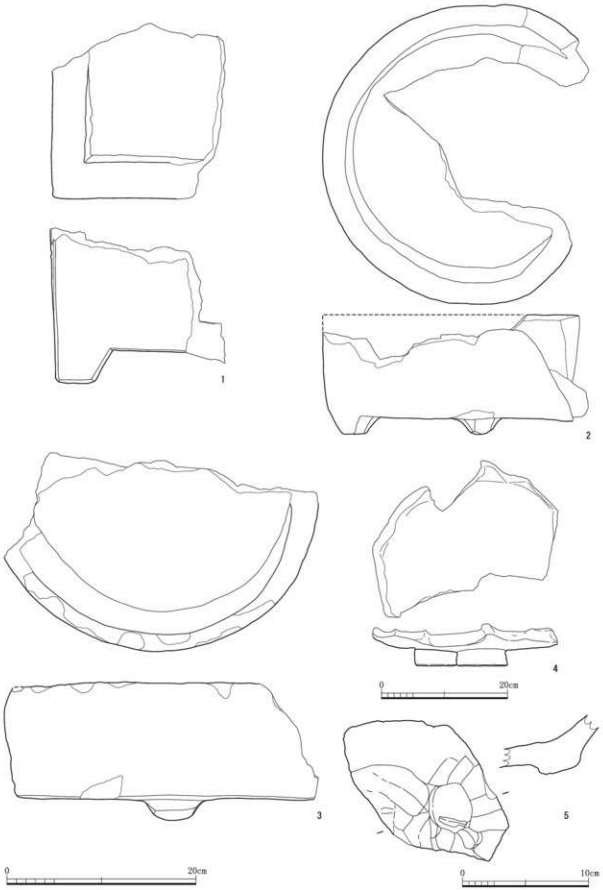


図164　石製品⑤（S＝1/3：5，S＝1/4：1~3，S＝1/6：4）

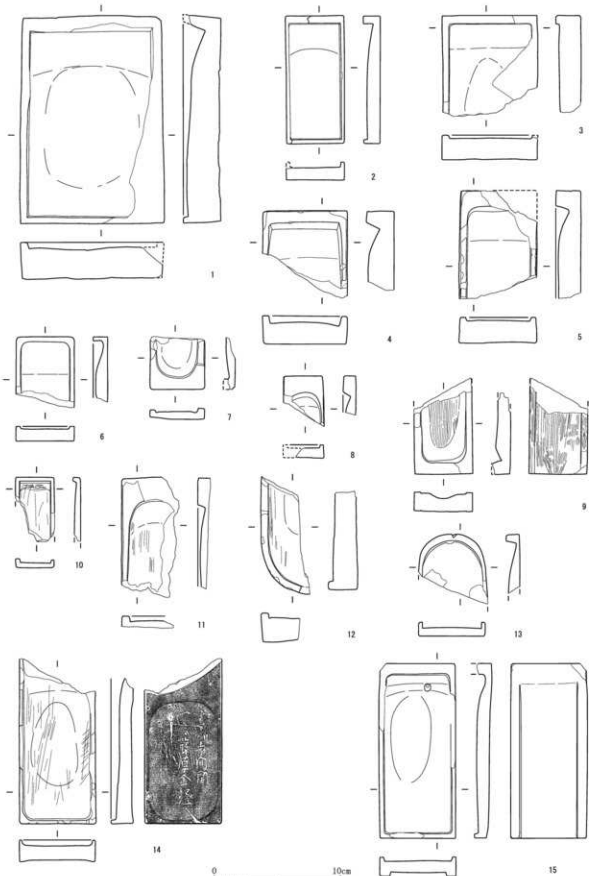


図165　石製品⑥（S＝1/3）

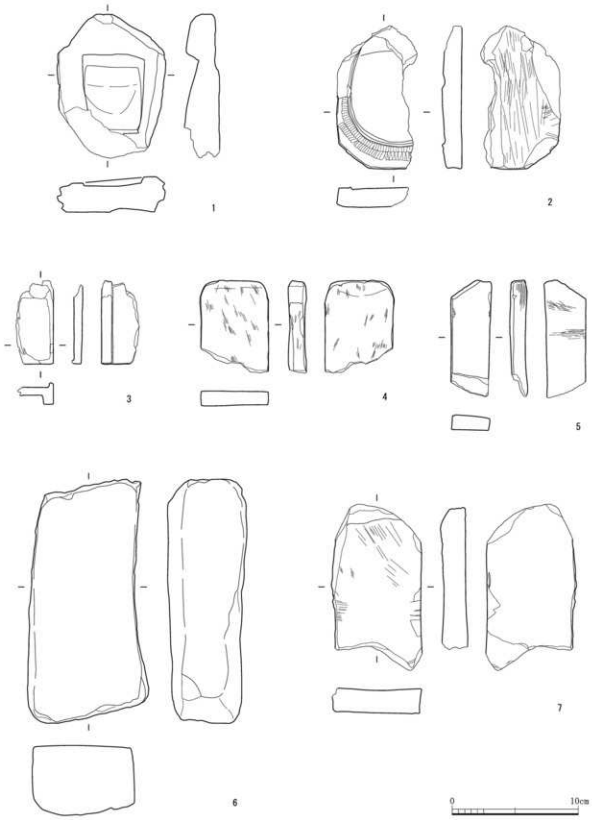


図166　石製品⑦（S＝1/3）

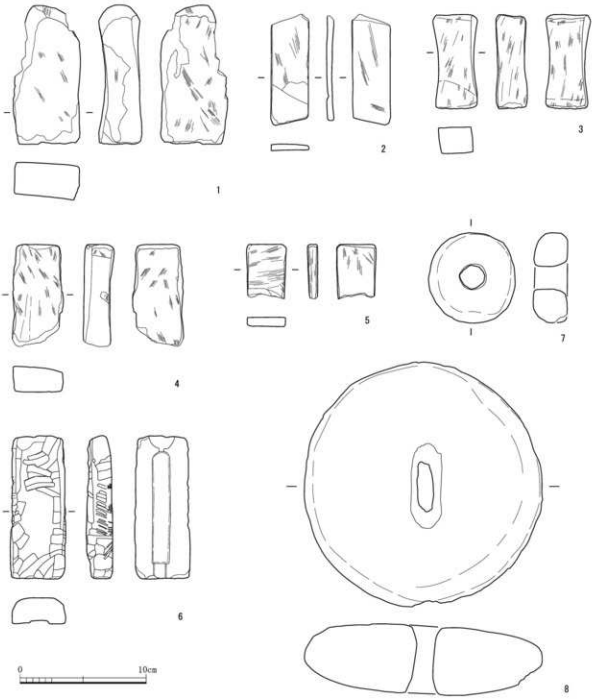


図167　石製品⑧（S＝1／3）

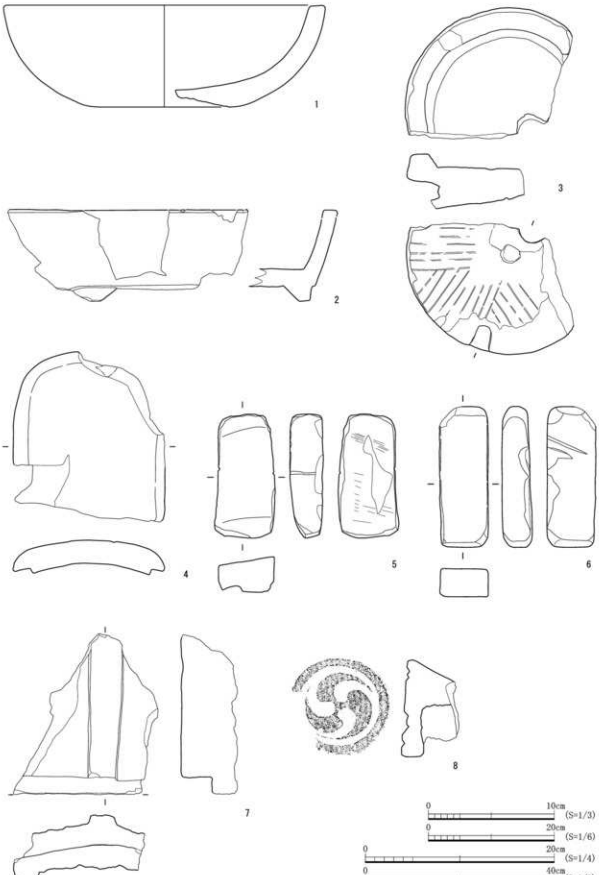


図168　石製品⑨（S＝1／3：5･6，S＝1／4：1･4，S＝1／6：2･3･8，S＝1／8：7）

表 24 石製品観察表

挿図番号	種　類	出土地点		法　量（cm）			備　考	S番号	写番号
		グリッド	遺構						
160 1	鉢	C 8	9 169	-	（13 5）		脚	205516	R9 434
160 2	石目			33 7	12 7		粉挽き臼・上臼	2x5 02	RX 10
160 3	石目			31 8	9 1		粉挽き臼・上臼	2x5 03	RX 12
160 4	石目			41 6	10 2		大形・粉挽き臼・上臼		
161 1	石目	B 6・C 6	石垣　裏込	21 5	13 3		茶臼・上臼	210532	R10 559
161 2	石目	A 5	板石敷通路周辺	20	38 5	12 0	茶臼・下臼	204509・10	R4 137 R4 157
161 3	石目	A 5・B 5	板石敷通路下層	17 5	29 5	11 0	茶臼・下臼	204530	R4 859
161 4	石目	C 7	9 11	18 6	35	10 0	茶臼・下臼	205517	R9 466
161 5	石目	B 7	2 217	18 8	35	8 1	茶臼・下臼	202508	R2 160
161 6	石目	A 7	2 226	18 5	38 4	13 2	茶臼・下臼	202510・11	R2 161
161 7	石目	C 7	9 11	18	36	11 2	茶臼・下臼・S2と同一個体	205519	R9 122
161 8	石目	C 7	9 11	18	36	11 2	茶臼・下臼・S19と同一個体	205527	R9 122
162 1	パンドコ	B 9	2 214	17 7	14 6	2 95	蓋（半楕円形）	202518	R2 249
162 2	パンドコ	A 9	トレンチ 204	16 7	14 4	3 8	蓋（半楕円形）	202589	R2 22
162 3	パンドコ	C 1	10 1056	13 8	11 3	2 2	蓋（半楕円形）	210509	R10 161
162 4	パンドコ	C 9	包含層	16 25	13 7	3 5	蓋（半楕円形）	205103	R9 457
162 5	パンドコ	C 7	石垣	17 3	13 8	3 6	蓋 楕円形	210511	R10 190
162 6	パンドコ	C 8	9 31	（15 5）	14 4	3 0	蓋（半楕円形）	205510	R9 284
163 1	パンドコ	B 8	2 241	16 0	15 0	12 3	無蓋・手捻り形	202514	R2 239
163 2	パンドコ	C 8	9 154	17 0	（10）	14 8	無蓋・手捻り形	205514	R9 405
163 3	パンドコ	B 9	2 214	19 6	14 4	18 8	有蓋・半楕円形・4つ窓	202516	R2 240
163 4	火鉢	B 7	カクラン	（17 5）	（19 4）	12 8	方形・脚付き・外面丁寧な整調整	2052111	R4 18
163 5	パンドコ	A 7・B 7	2 217	20 4	14 9	（16 4）	有蓋・半楕円形・4つ窓	202512	R2 164
163 6	パンドコ	C 7	石垣	（23 7）	（8 6）	9 9	有蓋・楕円形・6つ窓	210512	R10 193
163 7	パンドコ	C 7	包含層	19 2	13 8	2 1	有蓋・楕円形・窓部分	205538	R9 309
163 8	パンドコ	C 8	包含層	（10）	（7 5）	2 7	有蓋・楕円形・8つ窓？	205102	R9 171
164 1	盤		石垣　裏込	（18）	（17 5）	16 1	大形・方形・脚付き	210531	R10 544
164 2	盤	A 7	2 335	（32）	12 8		円形・脚付き	202519	R2 366
164 3	盤		カクラン	35	14 7		円形・脚付き	2025101	R2 01
164 4	風炉	C 1	10 1057	-	（6）		底部のみ・三脚のうち二脚残存	210510	R10 168 R10 234
164 5	盤		包含層	（11）	（11）	（5）	方形・脚付き	2105	
165 1	硯	C 7・C 9	包含層	16 4	11 5	3 1	3 点陣合	205578	R9 145
165 2	硯		包含層	10 5	4 65	1 4		2035	R3 123
165 3	硯	C 9	9 15	8	7 6	2 0		205518	R9 481
165 4	硯	C 8	9 129	（7）	7 8	2 2		205515	R9 433
165 5	硯	C 9	9 15	8 6	6 2	2 1		205502	R9 78
165 6	硯	C 8・9	包含層	5 6	4 6	1 2		205576	R9 07
165 7	硯	B 9	2 217（下層）	4 2	4 4	0 9		202548	R2 197
165 8	硯	C 7	包含層	4 0	3 2	1 1		205580	R9 309
165 9	硯		包含層	7 6	4 5	1 5		2035	R3 320
165 10	硯		包含層	5 1	3 1	0 7		2035	R3 61
165 11	硯	C 8	9 25	9 5	4 5	1 0		205526	R9 92
165 12	硯	B 6・B 7	2 217	9 3	3 9	2 3		202530	R2 128
165 13	硯		包含層	4 7	5 3	1 1		2035	R3 444
165 14	硯		墓上層	13	6 0	1 8	記銘「長州赤間関　藤原金清」	2105219	R10 01
165 15	硯		包含層	13 8	6 1	1 5		2035	R3 648
166 1	硯	C 8	9 134	（11 3）	8 6	2 7		209511	R9 300
166 2	硯	C 2	10 1271	11 3	6 3）	1 6		2105119	R10 446
166 3	硯	B 8	包含層	6 6	3 0	1 7		202594	R2 72
166 4	紙石	B 8	4 817	7 3	5 4	1 4		204589	R4 715
166 5	紙石	C 6	10 5036	（9 2）	3 1	1 2		210582	R10 569
166 6	紙石	C 2	包含層 瀬	19 3	9 6	5 5		2105179	R10 313
166 7	紙石	C 2	カクラン	13 2	7 2	2 1		2105185	R10 25
167 1	紙石	C 7	9 06	11 0	5 3	3 4	R9 7接合	209541	R9 521
167 2	紙石	B 8	トレンチ 201	8 8	3 0	3 0		202588	R2 05
167 3	紙石		4 857	7 4	3 5	2 4		204536	R4 1075
167 4	紙石	B 4・5	板石敷通路下層	8 1	4 0	2 4		204594	R4 617
167 5	紙石	B 7・8	包含層	4 3	4 0	2 4		204563	R4 244
167 6	錘型	A・B 7・8	包含層	11 4	4 4	2 1	小判錘造	2035	R3 310
167 7	環状石製品	B 1	4 811	7 3	2 4		重石？	204526	R4 714
167 8	薬研	B 4・5	板石敷通路下層	19 4	5 3		男谷石製	204529	R4 783
168 1	鉢	A 4	3 014	34 1	（15）	10 7	外面に丁寧な整調整・煤付着	203501	R3 119
168 2	盤		包含層	（38 2）	14 6		円形・脚付き	2035	R3 602
168 3	石臼		東側石垣裏込	（31）	（9）		粉挽き臼	203510	R3 696
168 4	パンドコ		包含層	18	16 0	2 5	蓋 楕円形	203535	R3 671 R3 630
168 5	紙石	B 8・C 8	包含層	9 8	4 7	2 6		203534	R3 644
168 6	紙石	B 6	包含層	11 1	3 9	2 3		203541	R3 279